

札幌市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	福祉読本「みんなのしあわせ」の発行 (障がい福祉課)	昭和57年度	-	障がいのある人や高齢者に対する正しい理解と知識を深めるために、小学校高学年を対象とした福祉読本を発刊し、福祉の啓発を図る。
	身体障害者福祉月間行事 (身体障害者福祉センター)	昭和49年度	1,313	身体に障がいのある方の関連行事の実施に伴い、広く一般市民に対し、身体に障がいのある方の生活を紹介し、正しい理解を求める。
	福祉用具公開講座 (身体障害者福祉センター)	平成15年度	-	福祉用具や在宅介護に関心のある市民の方を対象に、用具を選ぶときのポイントや使い方・介助方法等を体験を通じて学ぶことにより、福祉の啓発・理解の促進を図る。
生活支援	身体障害者入浴サービス事業(施設入浴) (障がい福祉課)	昭和57年度	15,105	在宅で入浴が困難な重度の身体障がいのある人に対し、特別養護老人ホーム等の入浴設備を利用して、入浴の機会を提供する。
	障害者生活支援事業 (障がい福祉課)	平成10年度	14,250	身体障がい者やその家族の地域生活を支援するため、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談や情報の提供等を総合的に行う。
	障害児(者)地域療育等支援施設事業 (障がい福祉課)	平成8年度	46,873	在宅障がい児(者)のライフステージに応じた地域での生活を支援するため、障がい児(者)施設等の有する機能を活用し、療育、相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供の援助、調整等を行う。
	心身障がい者交通費助成 (障がい福祉課)	昭和46年度	1,526,311	身体障がい者等及び介護者に対して、札幌市の区域内の停留所相互間のバス、地下鉄、電車の乗車料金、タクシーの基本料金又は自動車燃料を助成する。
	精神障害者交通費助成事業(障がい福祉課)	平成10年度	403,923	精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている精神障がいのある方に対し、社会参加の促進を図ることを目的として、市営交通、民営バス、タクシーの基本料金又は自動車燃料費を助成する。
	精神障害回復者通所交通費助成 (障がい福祉課)	平成3年度	5,155	在宅精神障がい回復者が、障がい者地域共同作業所又は授産施設に通所するために要する交通費を助成して、その経済的負担を軽減し、もって在宅精神障がい回復者の社会参加の促進を図る。
	身体障害者結婚相談員 (身体障害者福祉センター)	昭和52年度	342	身体に障がいのある方の結婚相談に応じ、必要な助言指導や紹介を行う。「未婚者の集い」開催。 (人件費予算は、身体障害者就職相談員に含む。)
	身体障害者相談員 (身体障害者福祉センター)	昭和42年度	2,288	身体に障がいのある方の更生援護の相談に応じ、必要な指導を行うとともに、地域活動の推進、関係機関との連携・協力等を行う。
	知的障害者相談員 (知的障害者更生相談所)	昭和43年度	490	知的障がいのある人またはその保護者からの相談に応じ、必要な援助を行う。
	更生相談 (身体障害者福祉センター)	昭和53年度	259	身体に障がいのある方の各種相談に対して援護指導を行い、在宅社会生活への適応性向上及び自立促進を図る。 (人件費予算は、身体障害者就職相談員に含む。)
	日常生活訓練 (身体障害者福祉センター)	昭和53年度	2,175	身体に障がいのある方に日常生活動作等機能回復のための歩行・動作・聴言等の訓練を行い、在宅社会生活への適応性向上及び自立促進を図る。
	社会適応訓練 (身体障害者福祉センター)	昭和55年度	2,628	身体に障がいのある方に教養の向上や社会適応に必要な教養講座等講習会を行い、在宅社会生活への適応性向上及び自立促進を図る。
身体障害者寝具洗濯乾燥事業 (障がい福祉課)	平成元年度	602	在宅で寝たきりの重度の身体障がいがある人が使用している寝具等の洗濯乾燥を行う。	

	<p>重度身体障害者(児)自助具給付事業 (障がい福祉課)</p> <p>身体障害者自立更生促進資金貸付 (障がい福祉課)</p> <p>知的障害者生活寮運営費補助 (障がい福祉課)</p> <p>精神障害者共同住居運営費補助 (障がい福祉課)</p>	<p>昭和62年度</p> <p>昭和49年度</p> <p>昭和59年度</p> <p>平成4年度</p>	<p>2,026</p> <p>30,000</p> <p>6,554</p> <p>38,589</p>	<p>在宅の身体に重度の障がいがある人、児童に対して、日常動作を補う自助具を給付し、日常生活の便宜を図る。</p> <p>身体に障がいのある人の自立更生に必要な資金を貸し付け、生活の安定と福祉の増進を図る。</p> <p>知的障がいのある人で、家庭環境・住宅事情等の理由により、現に住居を求めているもののうち、日常生活及び社会適応等の指導を要する者を入寮させる。</p> <p>住居確保が困難な回復途上にある精神障がい者に対し、共同で生活する場を提供し、日常生活における指導及び援助を行う</p>
教育・育成	<p>特別支援教育発達障害児対応技術援助モデル事業への協力 (精神保健福祉センター)</p> <p>地域学習モデル事業 (教育委員会教育推進課)</p> <p>1歳6か月児、3歳児精神発達精密健診、事後指導 (児童福祉総合センター・相談判定課)</p> <p>発達に心配のある子どもの療育支援事業 (児童福祉総合センター・児童療育課)</p> <p>発達医療センター事業 (発達医療センター)</p> <p>先天性障害児早期療育事業 (児童福祉総合センター・)</p> <p>障害児保育巡回指導 (子育て支援部保育課)</p>	<p>平成17年度</p> <p>平成15年度</p> <p>平成2年度</p> <p>平成9年度</p> <p>昭和54年度</p> <p>平成7年度</p> <p>昭和61年度</p>	<p>-</p> <p>800</p> <p>9,330</p> <p>18,013</p> <p>37,227</p> <p>6,230</p> <p>1,950</p>	<p>発達障がいの児童生徒に対し、今後の教育的支援や関係機関との連携について調査研究を行うため、当センターの職員を学校に派遣しモデル事業を通して専門的立場から技術指導・技術援助を行う。</p> <p>盲、聾、養護学校に在籍する児童生徒が居住する地域の学校を地域学習校と位置づけ、地域で学び育つことができる体制の整備を目指して、地域学習校を中心とした支援のあり方について調査・研究を行う。</p> <p>1歳6か月児、3歳児健康診査で発達の遅れが認められたり、疑われたりする児童に対して実施するとともに、関係機関との連携強化を行う。</p> <p>発達に心配のある子どもに対して遊戯療法により発達援助を行う。</p> <p>発達の遅れや心身の障がい疑われる乳幼児を早期に診断し治療するとともに、理学療法や作業療法、言語聴覚療法などのリハビリテーション、保育、各種相談、福祉の情報提供などを行う。</p> <p>0歳からの先天性障がい児(ダウン症候群など)に対して療育指導を実施する。</p> <p>障がいのある子の受入をしている保育所において、各々の障がいに対応した適切な保育が行われるよう、専門的知識を有する心理判定員等を定期的に派遣し、保育技術向上のための指導を行う。</p>
雇用・就業	<p>知的障害者就労相談主任手当支給事業 (障がい福祉課)</p> <p>ITを活用した障がい者在宅就労支援事業 (障がい福祉課)</p> <p>身体障害者就職相談員 (身体障害者福祉センター)</p> <p>心身障害者小規模授産施設運営費補助 (障がい福祉課)</p>	<p>平成8年度</p> <p>平成17年度</p> <p>昭和49年度</p> <p>昭和56年度</p>	<p>14,448</p> <p>1,270</p> <p>2,795</p> <p>799,087</p>	<p>知的障がい者を雇用し、社団法人札幌市知的障害者職親会の就職予後指導事業の対象となっている企業に対し、知的障がい者の安定的就労を図るため、その雇用する職員に対して指導的立場にある職員の業務を助成する趣旨で手当支給事業を補助している。</p> <p>障がいがあり、通勤や職場での長時間の就労が困難な方が在宅でITを活用して就労できるよう、継続的に支援を行っていく。</p> <p>身体に障がいのある方の就職相談に応じ、必要な助言・指導を行うとともに、公共職業安定所との連携の下に、身体に障がいのある方の雇用促進を図る。</p> <p>企業に雇用されることが困難な在宅の身体及び知的に障がいのある方々に福祉的就労の場を提供し、社会参加を図るために独立自活に必要な作業訓練を行っている地域の小規模作業所に運営費を補助する。</p>

	精神障害回復者小規模共同作業所運営費補助 (障がい福祉課)	昭和56年度	405,295	企業に雇用されることが困難な在宅の精神に障がいのある方々に福祉的就労の場を提供し、社会参加を図るために独立自活に必要な作業訓練を行っている地域の小規模作業所に運営費を補助する。
保健・医療	身体障害者健康診査事業 (障がい福祉課)	平成5年度	297	車いすを使用している身体に障がいのある人を対象に、車いすを使用することによる2次障がいを予防するため、定期的に健康診断を実施する。
情報・コミュニケーション	福祉バスの運行 (身体障害者福祉セン)	昭和48年度	2,993	身体に障がいのある方の社会活動を促進するため、車椅子リフト付バスを運行する。
その他	障がい者による政策提言サポーター制度 (障がい福祉課)	平成15年度	1,246	障がいのある人たちの思いや考えを同じ目線で理解することができる当事者(12人のサポーター)が、意見の聞き取り役や取りまとめ役となって、年に一度政策提言を行い、障がいのある人たちの意見を市政に反映していくことを目指す。

仙台市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	出前講座 (障害企画課)	平成14年度	0	仙台市の障害者施策や事業についてわかりやすく説明するとともに意見交換を行い、市民の皆さまに施策への理解を深めていただき、市民と行政のパートナーシップをすすめるものとするものです。
生活支援	障害者交通費助成事業 (障害企画課)	平成元年度	588,787	福祉タクシー券、ふれあい乗車証、自家用車燃料費助成券を配布している。
	重度身体障害者日常生活用具給付事業(仙台市単独) (障害企画課)	平成6年度	6,282	国のメニューにないエアーマット、パルスオキシメーターの給付を仙台市が独自に行っている。
	全身性障害者指名制介護助成事業 (障害企画課)	平成9年度	15,841	重度の脳性麻痺等により全身に障害があり、家族に適切な介護者がいない障害者を対象に障害者本人に介護人を選任してもらい、その介護にかかる費用の一部を助成している。
	ガイドヘルパー派遣事業 (障害企画課)	昭和54年度	15,275	重度視覚障害者、上下肢又は体幹に障害を有し障害程度1～2級の者で、家族に適切な付添い助をするものがなく外出等社会参加に支障のある方を対象にガイドヘルパーを派遣している。
	在宅酸素療法者酸素濃縮器等利用助成事業 (障害企画課)	平成7年度	16,686	酸素濃縮器や人工呼吸器使用にかかる電気料金の一部を助成している。
	リフト付自動車運行助成事業 (障害企画課)	平成6年度	12,207	一般の交通手段の利用が困難な車いす使用の身体障害者の外出・社会参加促進のため、リフト付自動車運行事業団体に対し補助している。
	身体障害者福祉資金貸付事業 (障害企画課)	平成4年度	2,000	市内に居住する18歳以上の身体障害者に対し、緊急かつ不時の出費のための資金を無利子で貸し付ける。
	福祉機器リサイクル推進事業 (障害企画課)	平成8年度	4,419	市民等からリサイクル可能な福祉機器を譲り受けて洗浄、消毒、修理などのメンテナンスをし、必要とする方へ提供する。
	知的障害者通所援護施設運営費補助事業 (障害企画課)	平成5年度	133,194	重度重複障害者等を一定数受け入れ、国の職員定数を上回る職員配置を行っている施設に対し補助している。
	知的障害者自立体験ステイモデル事業 (障害企画課)	平成14年度	17,283	在宅の知的障害者が一定期間親元を離れての生活体験をすることにより、グループホーム等での自立生活の実現を支援する。
	仙台市重度障害者福祉手当支給事業 (障害企画課)	昭和49年度	68,280	重度障害者の生活安定のために、年額30,000円を支給している。
	仙台市外国人重度障害者等福祉手当支給事業 (障害企画課)	平成9年度	1,728	障害基礎年金を受給できない重度障害者たる在日外国人等に対し、月額36,000円の手当を支給している。
	心身障害者通所援護事業費補助金交付事業 (障害企画課)	平成2年度	212,060	在宅の知的・身体障害者のために地域的な通所の場を設け、作業・生活指導・社会参加訓練等を行うことにより、心身障害者の福祉の向上を図る社会福祉法人等を補助している。
障害者家族支援等推進事業 (障害企画課)		87,410	障害児等の在宅での地域生活継続を可能とするために、手軽に利用できる介護サービスを提供する団体に対し、運営費を補助している。	
障害児放課後ケア支援事業 (障害企画課)	平成11年度	33,828	障害児が放課後も地域の中でボランティアや仲間との交流を通じて遊びや生活経験を広げることを目的として事業を行う団体に対し運営費を補助している。	

	知的障害児通園施設助成事業(障害企画課)	平成3年度	13,830	民間施設における職員体制の充実を図り、公立施設との格差是正のために運営費を補助している。
	難病患者見舞金支給事業(障害企画課)	昭和53年度	117,000	病気の原因がわからず、難病としての長期の治療を強いられることに対する見舞金として支給している。
	精神障害者小規模作業所運営費補助事業(障害企画課)	平成6年度	304,845	在宅の精神障害者に生活指導や作業訓練を行う小規模作業所に対し補助している。
	ひきこもり青少年等社会復帰支援事業(障害企画課)	平成14年度	3,538	ひきこもりの青少年等が段階を踏みながら、就労を視野にいたした社会参加を実現するためのリハビリテーション事業。
生活環境	重度心身障害児(者)住宅改造費助成事業(障害企画課)	平成6年度	12,285	重度障害者の住宅改造などに要する費用の一部を補助している。
	重度心身障害児(者)住宅整備資金貸付あっせん利子補給事業(障害企画課)	平成6年度	459	重度心身障害児者及びその同居の家族が障害者の居住環境を整備するために行う居宅の増改築及び改造工事に必要な資金の貸付をあっせんし、利子を助成する。
教育・育成	学習障害児等教育推進事業(教育相談課)	平成8年度	2,337	研究協力校や巡回相談員、専門家チームなどの事業を通して、これらの児童生徒の教育の充実を図る。
	ADHD児等個別指導補助プラン(教育相談課)	平成14年度	62,289	ADHD児等のいる通常の学級に指導補助員(週30時間勤務の非常勤嘱託職員)を配置し、指導や校内体制の充実を図る。
	学校建設費(維持修繕)(教育局学校施設課)	不明(平成8年度以前)	45,000	一人一人の障害の状態に応じ、学校施設のバリアフリー化を図るため、市立学校の施設を改修する。
雇用・就業	障害者就労支援センター運営事業(障害企画課)	平成12年度	57,328	就労全般にわたって本人や家族、事業主等からの相談に応じ、ジョブコーチやヒューマンアシスタントを派遣し、能力開発から職場定着まで一貫して総合的な支援をする。
	障害者就労訓練事業(障害企画課)	平成11年度	4,906	就労訓練の場として一般の店舗の一角を借り、授産製品等の販売、接客訓練を行う。
	心身障害者施設自主製品展示販売促進事業(障害企画課)	平成9年度	2,012	授産品販売を行う社会福祉法人等に対し、製品カタログ作成費用の一部を補助している。
保健・医療	心身障害者医療費助成事業(障害企画課)	昭和48年度	1,216,475	心身障害者の保険診療の自己負担相当額を助成している。宮城県の補助金による部分と、仙台市単独で上乗せしている部分がある。
情報・コミュニケーション	身体障害者コミュニケーション支援事業(障害企画課)	平成7年度	2,000	身体障害者のコミュニケーション機会拡大と社会参加促進を図るため、パソコン本体購入費の一部を助成している。
国際協力	障害者国際交流事業(障害企画課)	平成7年度	3,000	障害者が国際社会の一員として海外の実情を知り、国際的な視野に立った福祉のあり方を追求するため、海外視察研修事業等を行う団体に対し補助している。

さいたま市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
生活支援	日常生活用具自己負担助成事業 (障害福祉課)	平成15年度	2,469	日常生活用具の給付を受けた障害者等に対し、自己負担額を助成する。
	補装具自己負担助成事業 (障害福祉課)	平成15年度	57,547	補装具の給付を受けた障害者等に対し、自己負担額を助成する。
	知的障害児(者)短期入所事業 (障害福祉課)	平成15年度	3,803	疾病等の理由により、居宅における介護ができない場合に、一時的に社会福祉施設等に入所させる。(支援費制度を補完する事業として実施)
	知的障害児(者)レスパイトサービス事業 (障害福祉課)	平成15年度	1,341	知的障害児(者)を施設で預かり、介護者を一定期間介護から開放することにより、心身のリフレッシュを図る。(支援費制度を補完する事業として実施)
	障害児(者)生活サポート事業 (障害福祉課)	平成15年度	44,598	障害児(者)の一時預かり、派遣による介護等のサービスを提供する団体に補助する。
	精神障害者生活サポート事業 (障害福祉課)	平成16年度	935	精神障害者の一時預かり、派遣による介護等のサービスを提供する団体に補助する。
	生活ホーム事業 (障害福祉課)	平成15年度	119,256	家庭環境、住宅事情等により自立した生活ができない心身障害者の社会的自立を図るため、生活ホームを運営する団体に補助する。
	心身障害者地域デイケア事業 (障害福祉課)	平成15年度	555,749	身近な地域で通所により必要な自立訓練又は授産活動を行う施設に補助する。
	訪問理容サービス事業 (障害福祉課)	平成15年度	1,980	在宅の重度心身障害者に理容師を派遣する。
	聴覚障害者相談事業 (障害福祉課)	平成15年度	3,102	聴覚障害者のための相談員を設置し、障害者生活支援事業の一環であるピアカウンセリング等との連携を図りながら、家庭内問題等の相談に応じ、必要な助言及び情報の提供を行う。
	福祉タクシー利用料助成事業 (障害福祉課)	平成15年度	142,880	重度障害者等に、タクシーの初乗運賃相当額が無料となる福祉タクシー利用券を年間36枚(3級の下肢・体幹機能障害者は24枚)を限度に交付する。
	心身障害者相談員設置事業 (障害福祉課)	平成15年度	18,994	各区の窓口に相談員を設置し、心身障害者等の日常生活上の問題や更生援護のための相談に応じ必要な助言及び指導を行う。
	リフト付大型バス運行事業 (障害福祉課)	平成15年度	1,762	障害者の団体のために、リフト付大型バスの運行事業を埼玉県と共同で実施する。
	自動車燃料費助成事業 (障害福祉課)	平成15年度	20,400	1リットルにつき50円、半年毎に6,000円、1年度につき12,000円を限度に助成する。
	難病患者見舞金支給事業 (障害福祉課)	平成15年度	128,640	難病患者(指定疾患医療受給者証所持者)に対し、見舞金として年間30,000円を支給する。
	難病患者手術見舞金支給事業 (障害福祉課)	平成15年度	3,300	難病手術を受けた方に、見舞金として50,000円を支給する。
	障害児特別療育費補助事業 (障害福祉課)	平成15年度	33,183	重度の心身障害児が入(通)所している心身障害児施設に対し、特別療育費を助成する。(国の重度加算の対象者を除く)
貸しおむつ利用料助成事業	平成15年度	492	社会福祉法人の重症心身障害児施設が行う貸しおむつ利用事業に対して、予算の範囲内で補助を行う。	

	障害者スポーツ振興事業 (障害福祉課)	平成17年度	17,352	障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催、障害者スポーツ指導員の養成、第5回全国障害者スポーツ大会へのさいたま市選手団の派遣等を行う。
	障害児保育事業 (保育課)	平成15年度	11,784	障害児保育事業を実施する民間保育所の当該事業に要する経費を補助する。
	養護学校放課後児童対策事業 (保育課)	平成15年度	30,556	養護学校に通学する児童の放課後の健全育成を図るための養護学校児童クラブに対する事業であり、予算の範囲内で補助等を行う。
生活環境	重度身体障害者(児)居宅改善整備費補助事業 (障害福祉課)	平成15年度	8,100	肢体不自由者・児が生活し易いよう住居の一部を改善する場合の経費を補助する。
	福祉のまちづくり推進事業 (福祉総務課)	平成15年度	6,027	福祉のまちづくり推進協議会の運営及び福祉のまちづくり推進指針の策定やモデル地区における福祉のまちづくりの実践等。
	交通バリアフリー基本構想策定事業 (都市施設課)	平成16年度	3,130	16年度において策定した「さいたま市交通バリアフリー基本構想」に基づき、市民等のバリアフリー意識の醸成を図るためのイベントを開催するとともに、基本構想に係る各事業の進行管理を行う。
	交通バリアフリー化設備補助事業 (都市施設課)	平成16年度	61,400	鉄道事業者が市内駅(改札内)においてバリアフリー化整備を行う際に補助金の交付を行う。
	ノンステップバス導入促進事業 (交通政策課)	平成15年度	20,000	交通バリアフリー法の施行(H12年11月)に伴い、路線バスのバリアフリー化を推進し、高齢者や障害者及び子育て世代等のバス利用の利便性の向上を図るために、路線バス事業者が行なうノンステップバスの導入に対し補助を行う。
雇用・就業	障害者総合支援センター整備事業 (障害福祉課)	平成16年度	13,560	障害者の生活全般の相談支援、就労支援及び授産活動の活性化を図るための障害者総合支援センターの整備に向けて、基本・実施設計を行う。
	精神障害者社会適応訓練事業 (障害福祉課)	平成15年度	3,573	精神障害者を一定期間事業所に通わせ、集中力・対人関係能力・仕事に関する持続力及び環境適応能力等の向上を図るための社会適応訓練を行う。
	盲学生技能習得訓練事業 (障害福祉課)	平成15年度	2,986	自立更生を目指す視覚障害者が、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師となるのに必要な知識及び技能を修得するための訓練を(社福)東京ヘレン・ケラー協会に委託して実施する。
	精神障害者小規模作業所運営費等補助事業 (障害福祉課)	平成15年度	95,855	精神障害者小規模作業所を運営する団体に運営費等を補助する。Aタイプ(定員10~19人)5,000千円、Bタイプ(7~9人)4,200千円、家賃30千円/月、設備整備費500千円限度の3/4。
	授産製品販売所提供事業 (障害福祉課)	平成15年度	-	区役所内に、施設職員及び通所者が授産製品の販売を行うスペースを提供し、授産活動の支援と障害者福祉の理解促進を図る。
保健・医療	手帳診断書料助成事業 (障害福祉課)	平成15年度	10,080	身体障害者手帳交付申請時に要する診断書に係る費用を助成する。
	在宅重度心身障害者訪問歯科事業 (障害福祉課)	平成17年度	758	重度障害者の家庭に歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、歯科健診を実施する。
	精神科医療適正化事業 (地域保健課)	平成15年度	2,598	市内の病院から提出される措置入院者定期病状報告書、医療保護入院者入院届と医療保護入院者定期病状報告書に対して文書料を補助する。

情報・ コミュニケーション	障害者公衆FAX事業 (障害福祉課)	平成15年度	797	公共施設等にFAXを設置し聴覚障害者のコミュニケーションを確保する。
	市報の点字版・テープ版 発行 (広報課)	平成15年度	4,877	市報の点字版・テープ版を毎月発行し視覚障害者へ市政情報を提供する。
	メールによる119番通報 受信 (指令課)	平成16年度	-	聴覚障害者等の方のうち、登録者を対象として携帯電話からのメールによる火災や救急などの災害通報を受信する。

千葉市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	障害者福祉大会開催事業 (障害保健福祉課)	平成11年度	666	障害者週間事業の一環として、障害者の自立の促進と市民意識の啓発及び障害種別を越えた障害者間の交流を図る。
生活支援	福祉手当支給事業 (障害保健福祉課)	昭和38年度	1,180,007	重度の心身障害者(児)又は日常介護に当たっている者に福祉手当月額14,170円を支給する。
	児童福祉法外援助事業 (障害保健福祉課)	平成2年度	4,012	心身障害児に対し、補装具・日常生活用具等の自己負担額の半額を助成する。
	重度心身障害者福祉給付金支給事業 (障害保健福祉課)	平成7年度	432	障害基礎年金等の受給資格がない重度心身障害の外国人に給付金を支給する。
	福祉タクシー事業 (障害保健福祉課)	昭和54年度	135,316	重度の心身障害者(児)・精神障害者がタクシーを利用する場合に、運賃の一部を助成する。
	自動車燃料費助成事業 (障害保健福祉課)	平成8年度	133,233	重度の心身障害者(児)・精神障害者が日常生活に使用する自動車燃料の購入に要する経費の一部を助成する。
	各種助成事業 (障害保健福祉課)	平成2年度	23,486	在宅の心身障害者(児)に対し、補装具・日常生活用具等の自己負担額の半額を助成する。
	心身障害者福祉団体補助金交付事業 (障害保健福祉課)	昭和60年度	5,504	心身障害者福祉団体が実施する各種福祉事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。
	障害児(者)地域療育等支援事業 (障害保健福祉課)	平成15年度	19,752	障害児(者)施設の有する機能を活用し、地域での生活支援及び療育、相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供、援助調整等を行ない、地域の在宅障害児(者)及びその家族の福祉の向上を図る。
	障害者生活支援事業 (障害保健福祉課)	平成13年度	25,632	在宅障害者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報提供等を総合的に行う。
	福祉カー貸付事業 (障害保健福祉課)	平成2年度	340	障害者や障害者福祉事業関係者にリフト付きワゴン車を貸し出すことにより、社会参加を促進する。
	知的障害者生活ホーム運営事業 (障害保健福祉課)	平成5年度	38,544	独立した生活を求めている、又は家庭における養育が困難な知的障害者に対し居室等を提供し、日常生活及び社会適応に必要な援助を行なう。
全国障害者スポーツ大会派遣事業 (障害保健福祉課)	平成13年度	9,054	心身障害者の自立と社会参加の促進を目的に開催される、全国スポーツ大会に千葉市代表選手を派遣する。	
知的障害者グループホーム等開設準備費・世話人代替費補助事業 (障害保健福祉課)	平成14年度	7,560	知的障害者グループホーム、生活ホーム(市単独制度)の開設及び代替世話人の配置に要する経費を補助する。	
生活環境	重度心身障害者住宅改造費助成事業 (障害保健福祉課)	平成6年度	30,091	在宅の重度の心身障害者世帯に、障害にあった浴室・トイレ・台所等の住環境に関する経費の一部を助成する。
	障害者世帯住替家賃助成事業 (障害保健福祉課)	平成5年度	560	民間の賃貸住宅に居住する心身障害者が転居を求められた場合に、転居費用や家賃の差額等を助成する。
教育・育成	肢体不自由児激励会事業 (障害保健福祉課)	昭和56年度	226	肢体不自由児とその家族を対象に交流会を実施し、障害児と家族の交流を促進する。

	知的障害児激励会事業 (障害保健福祉課)	昭和39年度	972	特殊学級及び養護学校に通う知的障害児と家族を対象に、運動会を実施し、障害児と家族の交流を促進する。
	トイライブラリー運営事業 (障害保健福祉課)	昭和60年度	469	在宅の心身障害児に、おもちゃの貸し出しを行うとともに、遊び方・使い方等に関する相談・指導を行う。
雇用・就業	心身障害者ワークホーム 運営事業 (障害保健福祉課)	昭和61年度	171,960	在宅の心身障害者が、一般家庭の居室等を利用し軽作業等を通してふれあうワークホームの運営費等を助成する。
	心身障害者福祉作業所運 営事業 (障害保健福祉課)	平成3年度	15,624	在宅の心身障害者に仕事を与えるとともに、生活指導等を併せて行う民間福祉作業所の運営費等を助成する。
	精神障害者共同作業所運 営補助事業 (障害保健福祉課)	平成8年度	59,241	精神障害者家族会等が運営する共同作業所に対し、運営費等を助成する。
	精神障害者通所施設通所 交通費助成事業 (障害保健福祉課)	平成8年度	6,136	通所施設に通所する精神障害者に対し、通所に必要な交通費の一部を助成する。
	心身障害者通所交通費助 成事業 (障害保健福祉課)	昭和58年度	51,835	通所施設に通所する心身障害者に対し、通所に必要な交通費の一部を助成する。
	千葉障害者就業支援キャ リアセンター運営参画事業 (障害保健福祉課)	平成17年度	10,000	障害者の就業・雇用相談、実習、ジョブコーチ支援、求人開拓等を実施する千葉障害者就業支援キャリアセンターの運営に参画し、障害者の一般就労を支援する。
	福祉施設製品等PR事業 (障害保健福祉課)	平成17年度	1,800	授産施設などの福祉的就労の場で生産される製品等を掲載したカタログを作成し、広く市民等に配布して周知することにより、販路の拡大や受注の機会の増加に結びつける。
保健・医療	精神障害者入院医療費助 成	昭和58年度	26,159	精神障害者が、精神障害の医療を受けるために入院した場合に、本人負担額の1/2を助成する。
	精神科緊急医療対策事業 (障害保健福祉課)	平成8年度	3,225	市長が入院措置をした精神障害者を、指定病院に迅速に入院させ、適切な医療及び保護を図る。

横浜市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
生活支援	障害者地域活動ホーム生活支援事業 (福祉局障害福祉課)	昭和56年度	498,924	入所機能のない地域生活支援のための拠点施設におけるショートステイ・一時ケア・余暇活動支援・おもちゃ文庫等の実施に係る経費の補助
	在宅障害児者緊急一時保護事業 (福祉局障害福祉課・中央児童相談所)	平成15年度	7,138	緊急時(一時的なもの)に介護人を自宅派遣
	運営委員会運営型障害者グループホーム設置運営費補助事業 (福祉局障害福祉課)	昭和60年度	902,405	法人格を有しない運営委員会が設置・運営するグループホームに対し、運営費等を補助
	在宅心身障害者手当給付事業 (福祉局障害福祉課)	昭和48年度	1,914,565	在宅の心身障害者に対し手当を支給
	身体障害者奨学金支給事業	昭和39年度	10,879	経済的理由により就学が困難な身体障害者に学費を支給し、社会的自立を促進する。
	訓練介助器具助成事業 (福祉局障害福祉課)	昭和57年度	18,975	在宅障害児に訓練器具、自具具、介助用具の購入経費の一部を助成する。
	在宅重度障害者タクシー料金助成 (福祉局障害福祉課)	昭和58年度	513,964	在宅重度障害者に対して、1枚590円の助成券を、月6枚(年72枚)を限度として交付する。
	ハンディキャブ事業 (福祉局障害福祉課)	平成3年度	64,232	車いす常用の重度障害者を対象に、リフト付き車両の運行、貸出及び運転ボランティアの紹介を行う。
	ガイドボランティア事業 (福祉局障害福祉課)	平成3年度	29,382	重度の視覚障害者や全身性障害者が、社会生活上必要な外出をするとき、求めによりガイドボランティアを派遣する。
	障害者住環境整備事業 (自立支援機器助成) (福祉局障害福祉課)	平成5年度	73,848	障害者が住みなれた自宅で生活し続けられるよう、障害の状況等に応じ、移動リフトや階段昇降機等の機器の購入、取り付けを助成する。
	精神障害者生活支援センター整備事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成7年度	186,849	地域で生活する精神障害者の日常生活の支援、相談、地域における交流活動の促進等を行うことにより、精神障害者の社会復帰、自立及び社会参加の促進を図ることを目的とする施設を整備する。
	精神障害者生活支援センター運営事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成11年度	128,259	地域で生活する精神障害者の日常生活の支援、相談、地域における交流活動の促進等を行うことにより、精神障害者の社会復帰、自立及び社会参加の促進を図ることを目的とする施設の運営を行う。
	精神保健福祉対策事業 (衛生局精神保健福祉課)	昭和40年度	24,605 (24,204)	個別相談、集団援助、普及啓発及び生活教室、家族教室、連絡会等により、精神障害者の社会復帰促進を図る。
	精神障害者訪問介護等事業	平成12年度	12,240	精神障害者が居宅において日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパーの派遣に対し、補助を行う。
	精神障害者保健福祉手帳及び特別乗車券交付事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	530,702	一定の精神障害を有する者に対し、障害の程度を証し、日常・社会生活に要する福祉サービスを利用し易くするための手帳を交付し、精神障害者の自立や社会参加を促進する。また、精神障害者保健福祉手帳所持者に対して、特別乗車券を交付し、精神障害者の社会参加を促進する。
精神障害者生活支援拠点助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成16年度	5,751	精神障害者の地域生活を支援するため、国の「地域生活支援センター」の機能を有した、「生活支援拠点」を設置運営する団体に対して、助成を行う。	
精神障害者グループホーム助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成2年度	207,689	一定程度の自活能力のある精神障害者であって家庭環境、住宅環境等の理由により、住宅の確保が困難な者に対し、生活の場を確保するグループホームに対する設置費、運営費等を助成する。	

	精神障害者社会復帰施設 助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成元年度	15,068	精神障害者授産施設及び精神障害者生活訓練施設(援護寮)等を運営する法人団体に、施設運営等に係わる経費を補助する。
	精神障害者居住支援事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成5年度	1,869	住宅の立て替え等による立ち退き要求を受けたり、入居保証人が確保できないことを理由に生活困窮する精神障害者に対して、住み替えに必要な家賃の差額等や、入居保証金を助成する。
教育・育成	障害児学校生活支援事業 (教育委員会障害児教育課)	平成7年度	43,617	小・中・盲・ろう・養護学校に在籍する児童生徒の保護者が行っている介助や登下校を支援するため、学校生活支援員を配置する。
	養護学校医療的ケア体制整備事業 (教育委員会障害児教育課)	平成15年度	40,360	肢体不自由養護学校に看護師を配置し、医療的ケアの実施体制を整備する。
	学齢障害児夏休み支援事業 (教育委員会障害児教育課)	平成15年度	2,948	学齢障害児の夏休み期間中における余暇活動の充実及び保護者の介助負担の軽減を図るため、盲・ろう・養護学校において、教員や地域協力者によるプール指導・開放や部活動・文化活動を行う。
	高等養護学校就労支援事業	平成14年度	8,004	高等養護学校生徒の就労先の確保、就労先での定着指導を行うため、就労支援指導員を配置する。
	学齢障害児地域生活サポート事業(モデル事業) (福祉局障害福祉課)	平成16年度	5,000	学齢期の障害児とその家族の日常的な暮らしを支えるため、いつでも気軽に利用できる場の提供や、地域の課題に応じて様々な事業を実施する地域拠点をモデル的に開設する団体に対して、経費、事業費等を助成する。
雇用・就業	障害者福祉的就労促進事業	平成元年度	44,050	一般就労することが困難な知的障害者を雇用する事業所に対して、奨励金を交付
	農業就労援助事業 (福祉局障害福祉課)	平成4年度	17,053	就労を希望する知的障害者を対象に研修を行い、農業分野等で適正にあった職場の開拓、就労後の定着などを援
	共同受注事業 (福祉局障害福祉課)	昭和57年度	7,508	授産施設や地域作業所等に対する作業導入のための企業開拓
	就労援助啓発事業 (福祉局障害福祉課)	昭和57年度	1,656	市民・企業等を対象にしたシンポジウム及び研修会の開催
	就労援助の強化	平成3年度 平成16年度	109,832 108,784 1,048	障害者の就労支援を行う障害者地域就労援助センター(新設1箇所を含む計5箇所)の運営費補助 障害者の就労継続を支援するボランティアの育成・活用事業の実施
	就労の場の拡大	平成15年度 平成15年度 平成4年度	1,600 (内訳) 840 660 100	障害者の就労の場を拡大するため、障害者雇用を検討する企業に対し、特例子会社設立や求人登録等の相談・助言等を行う 知的障害者を雇用して起業しようとする起業家の支援 公共施設内に喫茶店等を設置し、障害者の就労の場の確保と障害者福祉の理解促進を図る
	就労に向けたスキルアップ事業	平成16年度 平成16年度	2,560 (内訳) 500 2,060	介護分野への職域拡大のため、知的障害者向けにホームヘルプ3級養成講座を実施する 企業や市役所での職場体験実習事業
	精神障害者就労支援センター事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成17年度	15,000	就労を希望する精神障害者に対し、仕事に関する相談・訓練から就労継続までの支援を一貫して行うセンターを開設・運営する。
	障害者地域作業所設置運営補助事業 (福祉局障害福祉課)	昭和52年度	2,066,396	障害者が自主製品等の製作を行い、社会参加を行う場である障害者地域作業所に対し、運営費等を補助

	精神障害者小規模授産施設運営助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成15年度	123,876	作業訓練や生活指導を行い、就労意欲の向上等を図る活動を行う「小規模授産施設」を運営する 法人に対して、助成を行う。
	精神障害者地域作業所助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	昭和57年度	1,052,075	精神障害者に対して、作業訓練や生活指導等を通して、就労意欲の向上や対人関係の改善等を援助し、社会復帰促進を図る地域作業所の設置・運営を助成する。
	精神障害者社会適応訓練事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	16,206	就労が困難な精神障害者を対象に、民間の協力事業所に対して作業能力や環境適応能力等の向上を図るための訓練を委託し、就労前訓練を行う。
保健・医療	こころの健康相談センター事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成14年度	39,735	精神保健及び精神障害者福祉に関し、知識の普及や啓発や調査研究、相談及び指導のうち複雑困難なものなどを「こころの健康相談センター」において行う。
	精神科救急医療対策事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	177,566	精神保健福祉法に規定された警察官通報等に対して、移送、診察及び措置入院等を行う。 精神科救急・医療情報窓口を設置し、精神障害者や家族等からの相談に対して、病院紹介等を行う。
	精神保健福祉審議会運営事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	543	精神保健及び精神障害者の福祉に関する事項について、市長の諮問に答えるほか、市長に意見を具申することができる、合議制の本市附属機関「横浜市精神保健福祉審議会」の運営を行う。
	精神医療適正化対策事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	13,273	精神障害者の人権に配慮しつつその適正な医療及び保護を確保するため、精神障害者の入院の要否及び処遇の適否に関する審査を行う精神医療審査会を運営するとともに、入院患者に対して実地に診察を行い、入院の要否を審査する入院患者実地審査と、精神病院の運営状況や患者の処遇について実地に調査・指導を行う精神病院実地指導を実施する。
	医療費公費負担事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	56,685	自傷他害のおそれが認められ、市長の措置による入院が必要とされた患者に対し、入院医療費を公費により負担する。また、患者からの申請に基づき、精神疾患の治療に要する通院医療費を公費により負担する。
	精神障害者入院医療援護金事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成8年度	146,833	精神保健福祉法に基づき入院している精神障害者のうち、一定の要件に該当する者に対して、医療費の一部を助成する。
	精神科専門病棟整備助成事業 (衛生局精神保健福祉課)	平成16年度	2,567	横浜市東部病院を夜間・深夜及び休日に発生した精神科救急患者に対応する基幹病院に位置付け、精神科救急用の保護室3床を確保するための整備費助成を行う。
情報・コミュニケーション		-	8,360	「障害福祉のあんない」の発行、ホームページ運営等
	障害福祉情報システム (福祉局地域福祉課)	平成15年度	3,960	「仕事」「くらし」「遊び」等生活全般の情報を障害者自ら情報収集し、インターネット等で情報提供しています。運営費を市社協に補助し、市社協から当事者性を生かせる障害当事者のNPOに委託し、運営しています。

川崎市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	啓発・普及事業費	昭和61年度	10,015	身体障害者市民理解、福祉活動推進事業
生活支援	身体障害者ふれあいガイド派遣事業(障害福祉課)	平成15年度	22,844	支援費(移動介護)の補完事業
	障害児(者)一時介護事業(療育福祉課)	平成10年度	10,845	短期の介護人派遣
	障害(児)者家族等介護者援助事業(療育福祉課)	平成12年度	4,320	レスパイト事業
	心身障害者手当支給事業(障害福祉課)	昭和48年度	639,921	市内居住重度心身障害児・者手当支給事業
	やさしい住まい推進事業(障害福祉課)	平成16年度	60,888	自立促進用具(移動リフト)の交付事業 住宅設備の改良
	福祉措置による川崎市乗合自動車特別乗車証交付事業(地域福祉部保護指導課)	昭和42年度	461,626 (事業総予算 986,819)	市内生活保護その他の援護、育成又は更生の措置等を有する者に対する市営バス特別乗車証の交付事業 身体障害者及び知的障害者とその介護者を含む。
	福祉措置による川崎市乗合自動車特別乗車証交付事業(地域福祉部保護指導課)	昭和42年度	461,626 (事業総予算 986,819)	市内生活保護その他の援護、育成又は更生の措置等を有する者に対する市営バス特別乗車証の交付事業 身体障害者及び知的障害者とその介護者を含む。
	障害者民間バス乗車券交付事業(障害福祉課)	昭和48年度	153,835	特別乗車証交付事業(市バス)の補完
	重度障害者福祉タクシー事業費(障害福祉課)	昭和58年度	178,976	重度障害者のタクシー利用基本料金助成事業
	福祉キャブ(リフト付き事業車)運行事業(障害福祉課)	平成4年度	45,481	重度障害者の移動手段確保事業
障害者福祉バス運行事業(障害福祉課)	昭和57年度	46,872	障害者団体等が利用する福祉バス運行事業	
精神障害者バス乗車券交付事業(精神保健課)	平成9年度	105,373	バス乗車券の交付による社会参加の促進	
雇用・就業	障害者ふれあいショップ運営費補助事業(療育福祉)	平成9年度	16,174	知的障害者の雇用と就労の場の確保及び市民理解促進
	就労援助センター運営費補助事業(療育福祉課)	平成3年度	51,312	南部・北部就労援助センターへの運営費補助
	障害者福祉的就労協力事業所奨励事業(療育福祉)	平成元年	2,910	福祉的就労促進事業
	障害者地域作業所指導事業(療育福祉課)	平成5年度	428,721	作業指導等による社会参加
	精神障害者地域作業所補助金(精神保健課)	昭和59年度	342,730	作業指導等による社会復帰の促進
	精神障害者就労支援事業(精神保健課)	平成9年度	3,381	協力事業所における就労訓練

	精神障害者福祉的就労協力事業所援助事業(精神保健課)	平成9年度	720	福祉的就労促進事業
	心身障害者モデル工場実習事業(療育福祉課)	昭和50年	4,571	職場での実習や就労訓練
保健・医療	心身障害児(者)歯科治療事業(療育福祉課)	昭和59年	40,227	重度心身障害児(者)の歯科治療の助成
	身体障害者訪問看護等支援サービス事業(障害福	平成12年度	10,351	訪問看護サービスの補完事業
	精神障害者医療保護入院等医療援護費(精神保健	平成8年度	41,684	医療保護、任意入院精神障害者への医療扶助事業
情報・コミュニケーション	身体障害者コンピュータ研修事業費(障害福祉課)	昭和63年度	13,103	身体障害者の職業的自立推進を目的とした事業
	視覚障害者訓練事業(障害福祉課)	昭和49年度	2,045	盲人図書館で行う基礎的訓練及び相談事業

静岡市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	視覚障害者用福祉のしおり・点字版(障害者福祉)	平成15年度	339	「障害者福祉のしおり」を視覚障害者用に点字版で作成する。
	心のバリアフリーイベント啓発イベント(障害者福祉)	平成15年度	1,790	障害者週間において、障害者理解を促進するためのイベントを開催する。
	心の輪を広げる体験作文・障害者週間ポスター募集事業(障害者福祉課)	平成15年度	0	障害者理解を促進する体験作文及び障害者週間の啓発ポスターを募集する。
生活支援	日常生活用具給付費(障害者福祉課)	平成15年度	2,500	在宅の重度身体障害者に各種生活用具を給付し円滑な日常生活を促す。
	リフト付福祉タクシー料金助成費(障害者福祉課)	平成15年度	1,360	リフト付タクシー利用料金の一部を助成し、障害者の負担の軽減と社会参加の促進を図る。
	心身障害者タクシー料金助成費(障害者福祉課)	平成15年度	27,662	重度障害者の社会参加を促進するため、外出時のタクシー利用に係る費用の一部を助成する。
	外国人障害者福祉金給付費(障害者福祉課)	平成15年度	324	障害基礎年金の支給を受けられない重度の障害を持つ外国人に福祉金を給付する。
	障害者相談員設置事業費(障害者福祉課)	平成15年度	2,788	身体障害者相談員及び知的障害者相談員を設置し、障害者の生活・就職・施設入所等の相談業務を実施する。
	聴覚障害者相談員設置事業(障害者福祉課)	平成15年度	175	相談事業の充実のため、情報障害で相談内容が多岐にわたる聴覚障害者のニーズに対応する専門相談を実施する。
	生活訓練ホーム運営費補助金(障害者福祉課)	平成15年度	94,381	重度障害者生活訓練ホームの運営費を補助する。
	重度障害者紙おむつ支給事業費(障害者福祉課)	平成15年度	5,136	在宅の重度障害児者で紙おむつを必要としている者に支給する。
	障害者生活支援事業費(障害者福祉課)	平成15年度	37,500	在宅障害者の福祉サービス利用援助や生活力を高めるための支援。ピアカウンセリングを通しての相談、情報提供により自立と社会参加促進を図る。
	福祉ショップ運営事業費補助金(障害者福祉課)	平成15年度	7,156	市内の小規模授産施設の事業を促進するために、製品を展示即売する福祉ショップ運営のための経費を助成する。
全国障害者スポーツ大会選手派遣事業費(障害者福祉課)	平成17年度	6,794	全国障害者スポーツ大会に市選手団を派遣する。	
生活環境	重度身体障害者住宅改造費補助金(障害者福祉課)	平成15年度	20,715	重度身体障害者が住宅設備を利用しやすいように改造する費用の一部を助成する。
	障害者住宅整備資金貸付事業費(障害者福祉課)	平成15年度	3,713	高齢者福祉課とともに実施している住宅整備資金貸付事業のうち、障害者対象分について実施する。
	聴覚障害者一斉通報システム(障害者福祉課)	平成15年度	87	警報発表時等において聴覚障害者にファックスで一斉に通報するシステムを維持する。
	緊急通報システム整備事業(障害者福祉課)	平成15年度	1,440	重度の身体障害者(肢体不自由者及び聴覚障害者)の在宅における緊急時に対応するため、緊急通報装置を貸与し、緊急通報体制の整備を図る。
教育・育成	障害児(者)地域療育等支援事業費(障害者福祉課)	平成15年度	21,500	心身障害者施設の有する機能を地域に住む障害者及びその保護者等に解放し、援助を必要とする障害者を積極的に支援する。

	音楽療育指導者派遣事業 (障害者福祉課)	平成15年度	980	心身障害者などのリハビリに効果のある音楽療育指導者の派遣事業を実施する。
	レスパイト事業補助金(障害者福祉課)	平成15年度	11,518	障害児(者)の地域生活を支援するために、従来の福祉制度の隙間となっている、放課後の日中預かりを行う団体の事業に補助する。
雇用・就業	小規模授産所指導員研修会(障害者福祉課)	平成15年度	14	小規模授産所指導員の研修会を行う。
	小規模授産施設機能強化推進費補助金(障害者福祉課)	平成15年度	5,868	小規模授産施設の機能を強化するため補助する。
	授産振興設備整備事業補助金(障害者福祉課)	平成15年度	2,346	小規模授産施設の設備整備や機械器具の購入・設置、施設の充実強化に必要な経費を補助する。
情報・コミュニケーション	福祉電話利用料金助成費(障害者福祉課)	平成15年度	663	低所得世帯に属し、外出困難な在宅の重度障害者に対して、福祉電話として貸与する。

名古屋市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
生活支援	障害者地域生活支援センター(障害施設課)	平成14年度	168,097	福祉サービスの提供にかかる援助・調整を行うとともに、支援費制度施行に伴う相談支援及び情報提供を行う拠点として、既存身障・知的障害者施設に設置し、障害者の自立と社会参加の促進を図る。現在市内17か所。
	重症心身障害者受入施設補助(障害施設課)	平成7年度	81,300	常時医療的介護を必要としない、在宅の重症心身障害者のうち、高齢などの理由により保護者の介護が困難な者について処遇の向上を図るため、一定数の重症心身障害者を受け入れた施設に対し、常勤指導員を加配するもの。
	通所施設における宿泊型短期入所事業(障害施設課)	平成15年度	25,310	身近な地域において慣れ親しんだ施設で安心して短期入所サービスを利用できるようにするため、一定水準を満たす通所施設(無認可施設含む)において宿泊型短期入所事業を実施するもの。
	障害児(者)移送サービス事業(障害施設課)	平成3年度	4,726	短期入所事業を利用するもののうち、サービス実施施設までの移送が困難な世帯に寝台タクシーを派遣して、移送の利便を図る。
	障害児(者)施設通所付添交通費の助成(障害施設課)	昭和50年度	9,521	障害者施設に通所する障害者の付添者に対して、その付添にかかる交通費を補助することにより、障害者の福祉向上を図るもの。
	地域生活推進事業(障害施設課)	平成16年度	337,512	市内の障害者福祉施設に障害者の地域生活を推進するため専任職員を配置し、障害者及びその家族を対象に障害者の地域生活を維持し、また障害者の希望に基づき地域生活への円滑な移行を促進するもの。
	デイサービス事業所重症心身障害者等運営費補助(障害施設課)	平成16年度	108,165	重症心身障害者を受け入れた施設に対し、支援費とは別に一定額の運営費補助を行い、もって重症心身障害者等の日中活動の場を確保するとともに、サービスの質を確保するもの
	知的障害者地域生活体験訓練モデル事業(障害施設課)	平成17年度	3,872	知的障害者が将来、地域で自立生活を送ることができるよう、民間アパート等を借上げ、実際に家族と離れて地域生活を体験することで、自活するための力を養い自立意欲を高める支援を行う。
	障害者アフターケア事業(障害施設課)	平成17年度	86,008	総合リハビリテーションセンターの利用者が増大してきている中、リハビリテーションセンターにおいて入院して治療をしている脳血管疾患など青壮年期の障害者が、急性期の治療や機能回復訓練を終え、より身近な地域でリハビリテーションを行うことができるよう、当該センター外の施設において新たにアフターケア事業を行う。
	リハセン視覚訓練指導事業(障害施設課)	平成元年	3,119	主に中途障害者を対象に社会経済活動への参加、または、家庭復帰や自立を図ることを目的として、社会適応能力を回復するために必要な評価・指導・訓練を行う。
	ホームヘルパー養成研修(障害福祉課)	平成14年度	1,107	ホームヘルパー2級等の資格所持者を対象に、障害者の特性等の理解を深めるために実施するもの。
	重症心身障害児小規模通所援護事業(障害)	平成6年度	182,523	在宅の重症心身障害児(者)に対し、日常生活訓練・療育を実施することにより、重度障害者の福祉の増進
知的障害者地域生活援助(グループホーム)事業設置運営費補助(障害福祉課)	昭和62年度	193,367	知的障害者グループホームに対し、設置費及び運営費等を補助するもの。	

	障害者向市営住宅優先入居(障害福祉課)	昭和43年度		住宅に困窮している障害者世帯の方に対して、市営住宅の一般空家住宅及び車いす利用者専用住宅について年2回募集を行い、抽選により入居を斡旋する
	障害者共同作業所(小規模作業所)への助成(障害福祉課)	昭和50年度	581,668	在宅の障害者の職業的能力の開発及び生活意欲の向上を図ることを目的として、障害者共同作業所に対して運営費の助成を行うもの。
	精神障害者小規模作業所への助成(障害福祉課)	昭和61年度	354,378	在宅の精神障害者に、生活指導・作業訓練を行う精神障害者小規模作業所に対して、設備整備費及び運営費の助成を行うもの。
	市営交通料金等の軽減(障害福祉課)	昭和46年度	1,294,622	障害者手帳等所持者に対して、市営交通機関等の特別乗車券の交付又は割引を行うもの。
	重度障害者タクシー料金助成制度(障害福祉課)	昭和53年度	683,254	公共交通機関の利用が困難な重度障害者について、タクシー利用券の交付により移動手段の確保と社会参加の促進を図るもの。
	重度身体障害者リフトカー運行事業(障害福祉課)	平成4年度	51,573	電動車いす利用者を中心に公共交通機関やタクシー利用が困難な車いす利用の重度障害者に対して、リフト付きタクシーの運行制度を設けることにより、移動手段の確保と社会参加の促進を図るもの。
	福祉バス運行事業(障害福祉課)	昭和55年度	5,783	障害者団体や施設等が、研修会や野外活動等を実施する際に、障害者向けバスを運行し、障害者の社会参加の促進を図るもの。
	知的障害者自立支援配食サービス事業(障害福祉課)	平成16年度	1,014	知的障害者のみの世帯に属する者に対し、障害者地域生活支援センターが実施する食のアセスメントに基づき、配食サービス事業を受けることにより、当該障害者が健康で自立した生活を営めるよう支援するもの。
	重度障害者寝具特殊寝台貸与事業(障害福祉課)	昭和52年度	72,937	在宅の重度障害者に寝具・特殊寝台を貸与し、福祉の増進を図るもの。
	上下水道料金軽減(障害福祉課)	昭和45年度	187,583	障害者世帯(世帯主で、所得制限のある障害基礎年金を受給している方)及び障害児世帯(特別児童扶養手当を受給している方)の市上下水道料金の軽減を行うもの。
	重度障害者(児)給付金(障害福祉課)	昭和42年度	182,000	在宅の重度障害者(児)に対し手当を支給し、その福祉の向上を図るもの。
	外国人障害者給付金(障害福祉課)	平成5年度	16,848	国民年金制度の改正が行われた昭和57年1月1日にすでに20歳に達していた外国人のうち、重度の障害者に対して給付金を支給するもの。
	人工肛門等造設者に対する装具代助成(障害福祉課)	昭和63年度	32,902	人工肛門又は人工膀胱を造設している者に対する補装具費について、国基準の限度額に上乗せして助成するもの。
	肢体不自由者自立促進援助事業(障害福祉課)	昭和62年度	3,648	在宅重度障害者への自立生活相談・自立生活情報サービス等の事業を実施し、在宅福祉の充実と社会参加の促進を図るもの。
生活環境	福祉のまちづくり推進委員会(障害施設課)	平成5年	500	高齢者や障害者をはじめ市民の誰もが安全で快適に生活しやすく活動しやすい都市環境を築いていくため、幅広い視野から専門的な審議を行い、助言などを得るもの。学識経験者など委員12名。
	福祉都市環境整備指針(障害施設課)	平成3年度	-	福祉的観点からのまちづくりの基本理念、福祉のまちづくりの方策、公共的建築物、道路、公園、公共交通機関等の整備する際の技術的基準を示す。平成15

	やさしさマークの交付 (障害施設課)	平成4年度	114	福祉環境整備の進んだ公共的建築物に対し、標示板を交付し、出入口近くに掲示してもらうとともに、ホームページ等にて当該施設を紹介するもの。平成16年度未交付件数225件
	障害者住宅整備資金の貸付(障害福祉課)	昭和53年度	8,250	障害者の生活の場を確保するため、居室の増改築及び新築時の居住環境整備等に対し、整備資金の貸付あっせんを行うもの。
教育・育成	肢体不自由児巡回療育指導事業	昭和43年度	462	市内の2会場を拠点に、在宅の肢体不自由児、重症心身障害児(者)等に対し、外出の機会を与え、これを継続的な交流の場とするともに、併せて各々の症状に応じた診察・訓練及び施設入所、就学等の相談指導を実施する。
	在宅重症心身障害児(者)訪問療育指導	平成2年度	74	在宅の重症心身障害児(者)を対象に、整形外科医、保健師、理学療法士、児童福祉司等でチーム編成をして訪問指導・相談を実施し、家庭療育の向上を図るもの。
	早期療育指導委員会(障害施設課)	昭和56年度	562	児童の障害の早期発見及び早期療育を推進するため、関係行政機関、障害児施設及び医療機関等からなる調整連絡検討機関として設置。医療関係者等委員11名。
	いこいの家(障害福祉課)	昭和49年度	17,955	在宅の障害児(者)が親とともに通い、療育訓練と親相互の親睦を図るもの。
	家庭療育の援助(障害福祉課)	昭和49年度	1,944	障害児の家庭や集団の場への療育援助者(ボランティア)を派遣する。また、医師、指導員等による指導を行うもの。
	障害児(者)地域グループ訓練事業(障害福祉課)	平成6年度	2,008	概ね10人以上の障害児(者)が参加して行われる保護者等のグループによる福祉的就労の場をめざす訓練等の集団活動について、その活動費を補助するもの。
	心身障害児短期里親(障害福祉課)	昭和49年度	216	障害児(者)を介護している者が一時的に介護できなくなった時に、里親が預り療育するもの。
雇用・就業	リハセン職能評価開発事業(障害施設課)	平成元年	8,220	病気や事故によって身体に障害をもった方や、記憶や注意力・判断力などの高次脳機能に障害をもった方を対象に、能力や適正にふさわしい仕事に就き、それによって職業的自立と社会参加を図る。
	第3セクター方式による重度障害者多数雇用企業(障害福祉課)	昭和63年度		第3セクター方式による重度障害者多数雇用企業に出資・経営するもの。
	障害者雇用支援センターへの運営費補助	平成11年度	22,163	一般就労や継続就労が困難な障害者に対し、福祉と労働分野が連携し、就職に必要な系統的な訓練を実施するとともに、職業開拓等企業への働きを通じ、就職から職場定着に至るまで一貫した援助を行う。
保健・医療	地域療育センターの運営(障害施設課)	平成5年度	973,445	障害のある児童及びその疑いのある児童又はその保護者に対し、相談、指導、検査、判定、医療の提供及び療育訓練を行うことにより、障害の早期発見及びその軽減を図る。
	総合リハビリテーションセンターの運営(障害施設課)	平成元年	2,578,072	身体障害者の相談から医療・訓練指導を経て社会復帰にいたるまでの一貫したリハビリテーションサービスを提供。

情報・コミュニケーション	点訳者設置事業(障害福祉課)	平成4年度	3,980	点訳者を設置し、視覚障害者に対する福祉サービスの充実を図る。
	聴覚障害者用公衆ファックスの設置(障害福祉課)	平成元年	787	聴覚障害者の非常時の連絡手段を確保するため、低額な料金で利用できる公衆ファックスを設置するもの。
	手話コミュニケーション支援システムの整備(障害福祉課)	平成10年度	2,087	パソコン通信による画像・音声通信を使用し、電話回線を通じ、聴覚障害者の要件等を手話により通訳するもの。

京都市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
生活支援	重度障害者自立支援事業 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	平成11年度	6,627	身体障害者福祉ホーム等に居住し、日常生活等を地域の中で自主的に営むのに支障のある重度身体障害者を対象に、専任の介護者による介護サービス等を提供することにより、重度障害者の地域社会での自立生活を支援することを目的とする。
	重度障害者タクシー料金助成 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	昭和58年度	211,204	重度障害者に対して、タクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の利便と社会参加の促進を図ることを目的とする。
	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	平成6年度	22,180	昭和57年1月1日の国民年金の国籍要件撤廃時に、20歳及び障害認定日を過ぎていた等によって、国民年金の障害年金を受給していない重度の障害のある京都市在住の外国籍市民に対して、国が制度化するまでの過渡的対応として、特別給付金を支給することにより、障害者福祉の向上を図る。
	障害者スポーツセンター等運営委託 (保健福祉局保健福祉部 障害企画課)	昭和62年度	232,862	障害者スポーツの推進拠点として、障害のある市民の健康の増進、福祉の向上に寄与し、また、可能な限り障害のない市民と施設を共同利用することで、それらの市民との融和を図ることを目的として設置された「京都市障害者スポーツセンター」等の運営を委託するもの。
	障害者スポーツの振興 (保健福祉局保健福祉部 障害企画課)	-	41,669	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者スポーツ振興会運営助成 ・ 全国車いす駅伝競走大会 ・ 障害者スポーツ指導者養成事業 ・ 全京都障害者総合スポーツ大会 ・ 京都市障害者体育大会 ・ 団体競技チーム強化育成事業 ・ 全国障害者スポーツ大会派遣事業
	こころのふれあい交流サロン運営 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	平成11年度	27,075	精神に障害のある市民もない市民も、誰もがこころのバリアを取り除き、地域で共に生活し、集いふれあう場所として、地域住民やボランティアと共に気軽に交流できる「こころのふれあい交流サロン」を運営し、精神に障害のある市民の自立と社会参加を促進する。
	在宅重度心身障害児(者)療育支援事業 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	平成16年度	35,735	心身に障害のある市民の自宅への訪問による療育指導と施設職員等への療育技術指導を行う。
生活環境	いきいきハウジングリフォーム (保健福祉局保健福祉部 障害企画課)	平成10年度	72,890	重度障害者が、障害状況等に応じた住宅環境整備を行うにあたり、専門的助言・指導を行うとともに費用の一部を助成することにより、在宅生活を支援し、重度障害者の自立促進と介護者の負担軽減を図る。
雇用・就業	知的障害者自立訓練センター運営助成 (保健福祉局保健福祉部 障害保健福祉課)	平成2年度	35,620	就労の困難な知的障害者が、一定の指導のもとで各種作業に従事し、一般企業への就労に向けた訓練を行い、社会参加と自立を図ることを目的とする「自立訓練センター」に対して補助を行う。
	授産振興センター運営助成 (保健福祉局保健福祉部 障害企画課)	平成7年度	20,300	心身に障害のある市民の福祉的就労の場である授産施設や共同作業所等の就労の場としての側面をバックアップし、共同受注、製品開発、市場開拓、技術向上研修等に取組む拠点として設置された「京都授産振興センター」の運営費を助成するもの。

大阪市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	リハビリテーションセンター 市民啓発事業	平成16年度	480	障害者のリハビリテーションに対する市民の理解を深め、障害者の自立と社会参加を促進するため、公開講座、リハビリテーションセンターの見学、ミニ講座、訓練等の体験を実施
生活支援	ジョブコーチ(指導員)派遣 事業 (障害福祉課)	平成15年度	3,446	「知的障害者長期受け入れプロジェクト」の実施にあたり、本市職員に対する事前研修などの就業相談や受け入れた知的障害者への相談・助言・指導を行うジョブコーチ(指導員)を派遣
	身体障害者福祉資金貸付 事業 (障害福祉課)	昭和45年度	6,886	身体障害者(児)に対し更生に必要な資金を貸し付ける。
	リフト付きバス運行 (障害福祉課)	昭和46年度	10,578	重度不自由者が団体で野外活動や社会見学などを行う際に、リフト付バスを低料金にて貸し出す。
	障害者(児)福祉バス借上 助成 (障害福祉課)	昭和48年度	7,365	障害者(児)が団体で研修会等を実施する場合に、バス借上げにかかる経費の一部を助成する。
	重度障害者等タクシー料 金助成 (障害福祉課)	昭和57年度	629,684	重度障害者が外出する際に利用するタクシー料金の一部を助成する。
	重度身体障害者大学等修 学助成 (障害福祉課)	昭和58年度	7,200	大学等に就学するにあたり、介助など特別の配慮を要する重度の身体障害者に就学助成金を支給し、自立意欲を高め、福祉の増進を図る。
	結婚相談事業 (障害福祉課)	昭和48年度	1,642	身体障害者の結婚相談及び斡旋。
	盲人用具あっせん購入事 業	昭和46年度	2,389	視覚障害者に配慮された各種用具を購入し、実費で販売する。
	点字競技会 (障害福祉課)	昭和34年度	139	点字競技会を開催し、視覚障害者の相互交流を促進する。
	大阪市盲人将棋大会 (障害福祉課)	昭和45年度	67	視覚障害者将棋大会を開催し、視覚障害者の相互交流を促進する。
	吃音教室 (障害福祉課)	昭和47年度	583	吃音者が吃音を克服するために各種訓練・講習会を開催する。
	全国障害者スポーツ大会 選手団派遣費 (障害福祉課)	-	8,299	全国障害者スポーツ大会に大阪市選手団を派遣する。
	指定都市親善スポーツ大 会経費 (障害福祉課)	昭和43年度	753	政令指定都市で持ち回りのスポーツ大会に選手を派遣する。
	全国身体障害者ゲート ボール大会派遣費 (障害福祉課)	平成元年度	148	都道府県で持ち回りの全国大会に選手を派遣する。
障害者スポーツ振興事業 (障害福祉課)	昭和40年度	7,846	障害者施策を推進するため、障害者スポーツが果たす役割、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、障害者スポーツ振興に取り組む。	
障害者スポーツ国際親善 大会 (障害福祉課)	-	30,000	車いすバスケットボール国際親善大会を開催し、障害者スポーツの一層の振興を図るとともに、国際交流・親善にも寄与していく。	

知的障害者スポーツ大阪大会 (障害福祉課)	昭和57年度	299	知的障害のある方が広くスポーツを通じて心身の向上を図り、信頼と友情の輪を広げ、社会参加を実現していくための企画としての知的障害者スポーツ大阪大会の経費の一部を助成する。
在宅進行性筋萎縮症者(児)福祉事業 (障害福祉課)	-	817	筋ジストロフィー児・者の検診事業や療育福祉相談事業を行う。
住宅設備改造費助成 (障害福祉課)	平成3年度	47,631	在宅の障害者の日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資するため、住宅改修工事費、住宅設備改造、移動機器設置費の給付及び補助を行う。
重症心身障害者介護手当 (障害福祉課)	昭和49年度	94,399	重症心身障害者を介護する者に対し、介護手当を支給する。
外国人障害者給付金(障害福祉課)	平成4年度	40,153	昭和57年の国民年金法改正以前に20歳到達などにより、障害年金が支給されない在日外国人に対し、給付金を支給する。
重度身体障害者グループホーム(障害福祉課)	平成元年度	92,018	重度身体障害者グループホームに対して運営費等を補助する。
知的障害者自活支援事業 (障害福祉課)	平成8年度	11,170	将来、家族等と離れて自立生活を希望する在宅の知的障害者に対して、将来の自立生活に必要な生活訓練を実施し、在宅障害者の地域における自立生活の推進を図る。
身体障害者手帳無料診断 (障害福祉課)	昭和46年度	6,178	身体障害者手帳の交付申請に必要な診断を無料で行う。
在宅福祉サービス診断書助成(障害福祉課)	平成6年度	646	在宅福祉サービス利用時に提出する診断書のための診断書料を助成する。
肢体不自由児療育センター事業(障害福祉課)	昭和42年度	7,600	在宅の肢体不自由児(者)に対し、機能回復のための療育訓練を実施する。
知的障害児母子訓練センター事業(障害福祉課)	昭和62年度	38,729	在宅の知的障害児に対し、生活訓練を提供するとともに、その母親に対して養育にかかる指導を行う。
障害児(者)歯科診療事業 (障害福祉課)	昭和49年度	30,219	一般開業医での歯科診療が困難な障害児(者)のために、障害児(者)の受入ができるよう対象の診療施設等に対して運営費を助成する。
障害児(者)口腔衛生指導事業(障害福祉課)	昭和57年度	900	障害児(者)に対して口腔衛生指導を行う。
肢体不自由児施設緊急通所援助事業(障害福祉課)	平成4年度	451	肢体不自由児施設に通所する児童の保護者が病気等のため緊急に通所に支障が生じたときに、保護者に代わって施設送迎を実施する。
障害者スポーツセンター管理運営(障害施設課)	昭和49年度	843,131	スポーツやレクリエーションを通じ、障害者の自立と社会参加を促進し、障害者の福祉の向上を図るため、障害者スポーツセンターを運営する。
障害者福祉作業センター運営助成(障害施設課)	昭和50年度	1,247,685	在宅障害者の生活訓練等を実施し、社会参加の場として重要な役割を果たしている障害者福祉作業センターに対し、運営にかかる経費を補助する。
障害者会館管理運営(障害施設課)	昭和54年度	484,577	障害者の自立と社会参加の促進に必要な訓練・指導・その他、障害者または地域住民に対する啓発事業など、障害者の福祉の向上に資する業務を行う。
パソコン・ワープロ講習会事業 (リハセン管理課)	昭和63年度	1,605	コミュニケーションの機会が制約されがちな身体障害者に対し、パソコンの講習会を実施し、コミュニケーション手段の拡大を図り、社会参加を推進する。

	補装具・福祉機器普及事業 (リハセン管理課)	平成5年度	22,862	心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある障害者(児)の自立促進及びその介護者の負担軽減を図るため、補装具・福祉機器に関する相談・助言や情報提供、工夫・改良の業務を行い、普及を促進したり、住宅の増改築の相談に応じたりする。
	通所肢体訓練事業 (リハセン管理課)	昭和60年度	22,758	在宅の肢体不自由者に、通所による日常生活動作の向上を目指した在宅自主訓練方法の指導を行うことにより、在宅障害者福祉の推進を図る。
	通所言語訓練事業 (リハセン管理課)	昭和63年度	7,022	脳血管障害及び脳性まひ等による言語障害者に対して、通所による言語訓練を実施し、コミュニケーション機会の改善・向上を図り、障害者の日常生活の向上と社会参加の促進を図る。
	精神障害者ふれあい生活支援・訓練モデル事業 (こころの健康センター)	平成12年度	65,000	作業所等の既存施設を利用した日常生活支援・相談事業・地域交流等を実施。
	知的障害者通所交通費補助	昭和52年度	26,982	授産、更生施設等に通所するものに対し、月額9,110円を限度に支給する。
	障害児通園施設交通費	昭和61年度	9,839	障害児施設に通園する児童及び付添い人に対し、その交通費を補助する。
生活環境	人にやさしいまちづくり推進事業 (障害福祉課)	平成5年	4,812	障害のある方や高齢者が安全で快適に活動できる「ひとにやさしいまちづくり」を推進本部を中心に取り組みを行う。
	鉄道駅舎エレベーター等設置助成 (障害福祉課)	平成3年	350,000	鉄道事業者が行うエレベーター等の設置費用の一部を補助する。
教育・育成	障害者スポーツセンター利用促進事業 (こころの健康センター)	平成9年度	8,577	精神障害者及び精神疾患について正しい知識と経験を有する専門スタッフの指導助言のもと、精神障害者がスポーツを通じて意欲や体力の低下を取り戻し、当事者同士と交流する場として利用することにより、健康の保持増進とともに社会参加の促進を図る。
雇用・就業	パソコン通信による情報処理訓練事業 (リハセン管理課)	平成6年度	7,312	インターネットと情報処理訓練の機能を活用し、毎日の通所が困難な重度の身体障害者に対し、在宅で情報処理技術の訓練を行い、就業機会の拡大及び社会参加を促進する。
	知的障害者の情報処理訓練事業 (リハセン管理課)	平成10年度	6,113	知的障害者に対し情報処理技術の訓練を行い、知的障害者の事務系分野への職域拡大及び社会参加を促進する。
	職業リハビリテーションセンター運営助成 (リハセン管理課)	昭和60年度	50,431	障害者に対する職業能力開発訓練 情報処理科:身体障害者対象 紙器製造科:知的障害者対象
	福祉の店設置助成 (障害福祉課)	平成12年度	1,418	公共施設を利用して、喫茶・軽食や物品販売等のコーナーを設け、障害者の働く場を確保し、社会参加と自立の促進を図るとともに、地域住民との交流を図り、障害者に対する理解を深める。
	重度知的障害者自立就労訓練事業 (障害福祉課)	平成12年度	5,300	重度の知的障害者、職業的重度の知的障害者を対象に、作業訓練等を行い、重度知的障害者の一般企業への就労の促進を図る。
	知的障害者長期受入プロジェクト (障害福祉課)	平成14年度	2,164	知的障害者の職員採用に向け、1年間の嘱託雇用を基本とした長期受入を実施
	知的障害者長期受入プロジェクト (リハセン)	平成17年度	2,222	知的障害者の職員採用に向け、1年間の嘱託雇用を基本とした長期受入を実施

	大阪市職業指導センター 運営助成 (障害福祉課)	平成7年度	21,141	知的障害者を対象に一般企業への雇用に向けて職業訓練を行い就労の促進を図る。
	障害者就業・生活支援センター運営助成事業 (障害福祉課)	平成10年度	87,328	障害者の一般企業への就労の促進と職業的自立の安定を図るため、平成10年に「大阪市障害者就業・生活支援センター」を設置し、障害者の就労に関する相談から職場定着までの支援を行っている。
	障害者就業・生活支援センター運営助成事業 (こころの健康センター)	平成10年度	21,033	障害者の一般企業への就労の促進と職業的自立の安定を図るため、平成10年に「大阪市障害者就業・生活支援センター」を設置し、障害者の就労に関する相談から職場定着までの支援を行っている。
	精神障害者小規模作業所 運営助成事業 (こころの健康センター)	平成元年度	201,000	小規模作業所は回復途上にある精神障害者を対象に通所による社会復帰訓練等を行っており、精神障害者の社会復帰促進に資するものとして運営費を助成。
	精神障害者ジョブシェアリングモデル事業	平成17年度	4,975	精神障害者就労の仕組み作りのため、ひとつの仕事を数人で短時間のローテーションや一斉に取り組むグループ就労などを施行実施
保健・医療	でかけるチーム精神保健 相談事業 (こころの健康センター)	平成12年度	2,092	精神科医師、臨床心理職員等がチームで各保健福祉センター等へ出向き、課題となっている対応困難ケースの解決を図る
	こころの悩み電話相談 (こころの健康センター)	平成12年度	4,158	市民が気軽に相談できるよう専門の相談員が対応し、午後9時まで開設することで夜間の市民の不安軽減を図る。
情報・コミュニケーション	障害者のためのパソコン 講習会 (障害施設課)	平成13年度	8,801	障害者の情報リテラシーの向上、及びデジタルデバイドの解消を図るための講習会を実施する。

神戸市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	新聞啓発等記事掲載事業 (保健福祉局障害相談課)	昭和56年度	840	障害者週間に一般紙に地元新聞社・兵庫県と共同で啓発記事を掲載する。
	心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター募集事業 (保健福祉局障害相談課)	平成元年度	499	障害者週間の啓発ポスター及び体験に基づく作文を募集し、表彰を行う。
生活支援	障害者スポーツの振興 (保健福祉局障害相談課)	昭和37年度	260,358	障害者スポーツ協会の運営、スポーツセンターの運営、各種スポーツ教室の開催、各種スポーツ大会の開催、全国大会への選手派遣、全国大会開催等
	通園費補助 (保健福祉局育成課)	昭和49年度	16,708	障害児(者)が児童通園施設・小規模作業所等に通園・通所する場合、本人及び障害児の付添人の交通費の一部を補助。
	盲導犬貸与 (保健福祉局育成課)	昭和49年度	3,951	1級の視覚障害者が就労や社会活動への参加のため、必要な場合に盲導犬を貸与する。
	盲導犬健康管理費等の支給 (保健福祉局育成課)	昭和51年度	508	盲導犬を飼育している者のうち、低所得のため盲導犬の健康管理費等の負担が困難な者に対して、健康管理費、犬舎費の一部を支給する。
	タクシー利用助成 (保健福祉局育成課)	昭和58年度	257,880	重度心身障害者で福祉乗車証の交付を受けていない者にタクシー利用料金の一部を助成。
	心身障害福祉センター (保健福祉局心身障害福祉センター)	昭和52年度	64,596	心身障害者援護の中心的機関として総合的な相談窓口を設けるとともに、適切な指導を行うための診断判定や、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等の機能回復訓練を実施。また、心身障害者の健康の増進、教養の向上、各種療育事業も実施。
	中途失明者生活訓練 (保健福祉局育成課)	昭和63年	450	中途失明者に対して、点字、感覚、歩行の訓練を行う。
	在宅障害者福祉センター (保健福祉局育成課)	東部)平成5年度 中部)平成8年度 西部)平成10年度	149,058	市内東部・中部・西部に在宅障害者の地域福祉・在宅福祉を支援するセンターを設置し、障害者の福祉の向上と社会参加の促進を図る。また、専門的ケアによる重症心身障害児(者)通園事業を実施している。
障害児タイムケア事業 (保健福祉局育成課)	平成17年度	7,614	障害者デーサービスセンターの空き室などを利用して、障害のある中高生の下校後の活動の場を確保し、保護者の就労支援を行う。(今年度モデル実施)	
生活環境	リフト付バス運行助成 (保健福祉局育成課)	昭和53年度	3,190	リフト付バスを配置し、車いす使用者等が野外活動・社会見学を行う際の利用に供する。
	都市施設整備事業 (保健福祉局障害相談課)	昭和54年度	4,223	条例に基づく助言・指導
	都市施設整備推進資金融資 (保健福祉局障害相談課)	平成元年	130,745	既存施設の改修を誘導するための低利融資制度
	リフト付タクシー運行助成 (保健福祉局育成課)	平成3年度	8,559	重度障害者等の社会参加推進・日常生活の利便拡大のため、車両運行経費の一部を助成する。
	鉄道駅舎エレベーター設置の補助及び融資 (保健福祉局計画調整課)	補助)平成4年度 融資)平成6年度	241,841	補助率1/6、無利子融資
	ノンステップバス導入推進補助 (保健福祉局計画調整課)	平成12年度	4,916	補助率1/8

教育・育成	教養講座の開催 (保健福祉局育成課)	昭和47年度	4,737	心身障害者の教養の向上を図るために各種講習会を開催する。
	総合療育センター (保健福祉局総合療育センター)	平成11年度	120,026	障害の早期発見と早期療育を図り、多様化・重複化する福祉ニーズに対応するため、総合的な療育サービスを提供する。
	自閉症児自立支援事業 (保健福祉局総合療育センター)	平成14年度	5,900	自閉症児に対して、環境を理解しやすくするための構造化の手法を基本とした個別指導により、自立生活への支援を行う。
雇用・就業	福祉就労促進 (保健福祉局育成課)	昭和48年度	188,628	一般就労が困難な知的障害者が福祉的配慮のもとに就労する場を確保する。(8か所、125人)
	小規模通所訓練施設(精神障害、心身障害) (保健福祉局育成課、こころの健康センター)	昭和56年度	1,089,829	就労が困難な在宅障害者を対象に、社会参加を促進するために作業訓練を行なっている民間の小規模通所訓練施設に助成する。
	知的障害者自立訓練事業 (保健福祉局育成課)	昭和61年度	88,412	知的障害者を対象に、在宅福祉センター等で清掃等の作業訓練を実施し、就労を促進する。
	障害者多数雇用事業所 神戸カムの設置運営 (保健福祉局障害相談課)	平成63年度	83,958	市が一部出資して障害者多数雇用事業所を設置し、経営参加・事業協力を行っている。
	障害者就労推進センターの運営 (保健福祉局障害相談課)	平成8年度	22,554	福祉施設や労働行政と連携し、就労相談・訓練、職場開拓等を行い、障害者の一般就労を推進する。
	神戸ふれあい工房の設置運営 (保健福祉局障害相談課・社会福祉協議会)	平成12年度	1,000	授産製品の展示・販売・販路拡大(約60施設が参加)
	障害者就労推進センターにおけるジョブコーチ制の導入	平成14年度	6,232	障害者就労推進センター訓練生の企業実習等にジョブコーチ制を導入し、就労促進を図る。17年度からは1名増員。
	障害者就労支援IT技術習得セミナーの実施 (保健福祉局障害相談課)	平成14年度	3,140	就労を目指す障害者に対し、コンピューターグラフィック・画像処理技術・ホームページデザイン等のセミナーを実施(年2回、定員各10名)
	チャレンジド・クリエイティブ・プロジェクト (保健福祉局障害相談課)	平成14年度	0	民間通販会社、社会福祉法人、県、市が連携し、県内授産施設等に参加を呼びかけ、授産品のデザイン・品質の向上を図った上で、新製品を開発し、民間会社の通販カタログを利用して販売を行う。今後郵政公社とも連携予定。
	障害者就労ネットワークの構築 (保健福祉局障害相談課)	平成15年度	0	障害者就労支援ネットワーク会議を開催し、労働行政、企業、福祉、教育など多面的なネットワークを活用し、企業への啓発と雇用につなげていく。
知的障害者トライアル実習 (保健福祉局障害相談課)	平成17年度	3,232	知的障害者の施設等からの就労へのきっかけづくりとしてトライアル実習機会を提供し、障害者本人の就労の機運を高めるとともに、施設職員の就労に対する意識を醸成させる。	
保健・医療	発達障害支援体制の検討 (保健福祉局育成課)	平成17年度	3,000	発達障害児(者)の幼児期から成人期までの一貫した支援体制を検討するための委員会を設置するとともに、就学前児童とその家族を対象にした集団教室や保育士、幼稚園教諭などへの専門研修を行う。
(再掲)	心身障害福祉センター (保健福祉局心身障害福祉センター)	昭和52年度	64,596	心身障害者援護の中心的機関として総合的な相談窓口を設けるとともに、適切な指導を行うための診断判定や、理学療法、作業療法、言語聴覚療法等の機能回復訓練を実施。また、心身障害者の健康の増進、教養の向上、各種療育事業も実施。

(再掲)	中途失明者生活訓練 (保健福祉局育成課)	昭和63年	450	中途失明者に対して、点字、感覚、歩行の訓練を行う。
(再掲)	総合療育センター (保健福祉局総合療育センター)	平成11年度	120,653	障害の早期発見と早期療育を図り、多様化・重複化する福祉ニーズに対応するため、総合的な療育サービスを提供する。
(再掲)	自閉症児自立支援事業 (保健福祉局総合療育センター)	平成14年度	5,900	自閉症児に対して、環境を理解しやすくするための構造化の手法を基本とした個別指導により、自立生活への支援を行う。
情報・ コミュニケーション	福祉電話の貸与 (保健福祉局育成課)	昭和50年度	5,993	低所得世帯の外出困難な重度障害者及び重度聴覚言語障害者のコミュニケーション及び緊急連絡の手段を確保するために福祉電話を貸与。
	点字図書給付 (保健福祉局育成課)	平成4年度	2,332	高額な点字図書を一般図書価格相当額で給付。
	ふれあいFAX (保健福祉局育成課)	平成4年度	11	聴覚言語障害者のコミュニケーション、緊急連絡等の手段の確保のため、公共施設・商店等のファックスを利用できるようにする。
	公文書の点字化 (保健福祉局障害相談課)	平成5年度	1,714	市から発送する封筒に点字表記を行う。また、障害者施策の概要の点字版を作成・配布している。
	情報バリアフリー化支援事業 (保健福祉局育成課)	平成14年度	1,691	パソコンを使用できるようにするための周辺機器やソフト等の購入費の一部を助成。(補助率2/3、上限10万円)

広島市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	フラワーフェスティバル「ふれあいの広場」設置 (社会局障害福祉課)	昭和56年度	6,619	毎年5月に開催される広島と世界を結ぶイベントである「ひろしまフラワーフェスティバル」において、障害者と健常者が交流する「ふれあいの広場」を設置し、ステージ発表や作業所製品の販売等を行う。
	「ふれあいの広場」25周年記念事業 (社会局障害福祉課)	平成17年度	5,297	「ひろしまフラワーフェスティバル」において障害者と健常者が交流する「ふれあいの広場」を設置してから25周年になるのを記念して、「障害者福祉週間」のうちの一日に、障害者と地元の交響楽団とのジョイントコンサートを行う。
	心身障害者週間推進事業 (社会局障害福祉課)	昭和58年度	189	「障害者福祉週間」において、各種の啓発活動を実施するとともに、障害者福祉推進に貢献された者に対して市長表彰を行う。
生活支援	市町村障害者生活支援事業 (社会局障害福祉課)	平成15年度	15,314	障害者やその家族の地域における生活を支援するため、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談及び情報の提供等を総合的に行う。
	ガイドヘルパー派遣事業 (社会局障害福祉課)	平成15年度	77,065	支援費制度移行に伴う激変緩和のため、盲人ガイドヘルパー派遣事業、車いす等ガイドヘルパー派遣事業、知的障害者社会参加支援ヘルパー派遣事業の3事業について、単市事業を継続実施する。
	在宅重度心身障害者介護手当支給 (社会局障害福祉課)	昭和49年度	4,698	在宅の重度心身障害者(児)を介護している保護者に対し、所得制限を設けた上で、介護手当を支給する。
	在宅重度心身障害者援護見舞金支給 (社会局障害福祉課)	昭和47年度	1,053	在宅の重度心身障害者(児)に対し、所得制限を設けた上で、見舞金を支給する。
	重度心身障害者福祉給付金支給 (社会局障害福祉課)	平成6年度	4,104	制度上国民年金の受給資格を得ることができなかった重度心身障害者に対し、所得制限を設けた上で、福祉給付金を支給する。
	重度身体障害者寝具乾燥消毒 (社会局障害福祉課)	平成12年度	218	重度身体障害者の居宅を訪問し、寝具一式の丸洗い・高熱乾燥消毒処理を年1回実施する。
	民間障害者(児)福祉施設職員給与改善費補助 (社会局障害福祉課)	平成4年度	38,274	社会福祉施設の職員の量的確保及び質的向上を図るため、職員給与改善費として、施設の正規職員の本俸月額に2%を乗じた額を補助する。
	民間障害者(児)福祉施設整備資金借入金元利償還金補助 (社会局障害福祉課、精神保健福祉室)	平成5年度	62,308	社会福祉施設の整備を促進するため、社会福祉法人等が社会福祉施設を整備するに当たり借り入れた元金及び償還金に対して助成を行う。
	障害者公共交通機関利用助成 (社会局障害福祉課、精神保健福祉室)	平成5年度	116,694	障害者の外出を動機づけ社会参加の促進を図るため、一定の所得制限を設けた上で、バスやタクシー等の利用券を提供することにより交通費を助成する。
	障害者福祉バス運行 (社会局障害福祉課)	昭和62年度	6,260	公共交通機関を利用することが困難な障害者が、機能回復訓練や各種研修会、スポーツ、レクリエーション等に集団で参加する場合には、車いす用リフト付きバスを運行する。
	重度障害者福祉タクシー利用助成 (社会局障害福祉課)	昭和62年度	122,155	重度障害者については、通院等にタクシーを利用する機会が多いため、一定の所得制限を設けた上で、タクシー利用料金の全部または一部を助成する。
	各種スポーツ大会開催・選手派遣事業補助 (社会局障害福祉課)	平成2年度	926	身体障害者のスポーツ振興と社会参加の一層の促進を図るため、身体障害者関係団体が行う各種スポーツ大会の開催や選手派遣事業に対する補助を行う。

	知的障害者援護施設通所者交通費助成 (社会局障害福祉課)	平成2年度	23,748	更生訓練費が支給される身体障害者更生援護施設通所者との均衡を図るとともに、知的障害者援護施設通所者の経済的負担を軽減し通所の促進を図るため、交通費の一部を助成する。
	心身障害者福祉のしおり作成 (社会局障害福祉課)	平成2年度	459	障害者関連の施策や施設等をまとめた「心身障害者福祉のしおり」を作成し、手帳の新規取得者や相談者等に配付する。
生活環境	聴覚障害者災害避難情報提供 (社会局障害福祉課)	平成13年度	40	聴覚障害者の生命と安全を守るため、各区福祉事務所の福祉ファクスに聴覚障害者のいる世帯のファクス番号を登録し、災害発生時等において各区福祉事務所から避難情報等を送信する。
	重度身体障害者電話相談センター運営 (社会局障害福祉課)	昭和50年度	90	在宅のひとり暮らしの重度身体障害者に電話を貸し、電話相談センターから電話により安否の確認や生活相談を行う。
	障害者住宅改造費助成 (社会局障害福祉課)	平成11年度	22,680	障害者の居住環境の向上を図るため、障害の程度や所得制限の範囲を定めた上で、障害者及びその者の居住する住宅の改造に要する費用の一部を補助する。
教育・育成	市立養護学校児童生徒の地域活動推進事業 (教育委員会特別支援教育室)	平成15年度	2,160	完全学校週5日制の実施に伴い、市立養護学校の児童生徒に対して、地域における交流や活動の場を提供するため、地域ボランティア等のグループが公民館等を拠点として行う各種活動に対して助成する。
	障害児(者)地域療育等支援事業 (社会局障害福祉課)	平成9年度	78,793	在宅の重症心身障害児(者)、知的障害児(者)及び身体障害児の地域における生活を支援するため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育機能の充実を図り、障害児(者)の福祉の向上を図る。
	市立養護学校放課後対策事業 (社会局障害福祉課)	平成16年度	8,776	市立養護学校の児童・生徒に放課後の安全な活動の場を提供することにより、保護者の負担軽減及び児童・生徒の健全育成に資する。
雇用・就業	障害者合同面接会の開催 (社会局障害福祉課)	昭和54年度	342	公共職業安定所との共催により、就職を希望する障害者と障害者の雇用を希望している事業所とが一堂に会する合同面接会を開催するとともに、企業に対して障害者雇用啓発文を送付する。
	知的障害者職業自立訓練 (社会局障害福祉課)	昭和63年度	7,709	知的障害者の雇用促進を図るため、公共施設の清掃業務に従事することにより、作業訓練や生活訓練、社会適応訓練等を行う。
	授産事業振興センター運営	昭和63年度	14,418	市内の小規模作業所及び授産施設の仕事の受注や、製品の販路開拓等を行う。
	小規模通所授産施設通所者交通費助成 (社会局障害福祉課、精神保健福祉室)	平成15年度	2,950	小規模通所授産施設への通所を促進し、施設における訓練を効果的に受けてもらうため、通所している障害者のうち収入が一定額以下の者について、交通費の一部を助成する。
	小規模作業所運営費等補助 (社会局障害福祉課、精神保健福祉室)	昭和56年度	343,601	障害者の就労促進と福祉の向上を図るため、一般企業で就労することが困難な在宅の障害者が通所し技能習得訓練等を実施している小規模作業所の運営等に対する補助金を交付する。
	小規模作業所通所者交通費助成 (社会局障害福祉課、精神保健福祉室)	平成3年度	19,273	小規模作業所への通所を促進し訓練を効果的に受けてもらうため、通所している障害者のうち収入が一定額以下の者について、交通費の一部を助成する。

	紙屋町地下街「ふれ愛プラザ」運営補助 (社会局障害福祉課)	平成13年度	3,109	県・市共同で、市内中心部の紙屋町地下街において、福祉情報の発信、障害者等との交流、授産製品の展示販売等を行う「ふれ愛プラザ」の運営等に対する補助金を交付する。
	精神障害者授産施設通所者交通費助成 (社会局精神保健福祉室)	平成12年度	1,287	精神障害者通所授産施設への通所を促進し、施設における訓練を効果的に受けてもらうため、通所している障害者のうち収入が一定額以下の者について、交通費の一部を助成する。
保健・医療	重度心身障害者療養援護金支給 (社会局保険年金課)	平成7年度	107,370	重度心身障害者医療費補助制度の対象者が、15日以上継続して入院した場合に、月額1万円を支給する。
	重度心身障害者介護保険利用者負担助成 (社会局保険年金課)	平成12年度	311,046	重度心身障害者医療費補助の対象者に対し、保健の向上と福祉の増進を図るため、介護保険の医療系サービスに要する利用者負担を助成する。
	先天性代謝異常等検査 (社会局保健医療課)	平成13年度	23,440	先天性代謝異常等を早期に発見することにより早期医療に結び付け、障害の出現を防止するため、新生児の血液検査を行う。
情報・コミュニケーション	ろうあ者専門相談指導 (社会局障害福祉課)	平成元年度	3,056	ろうあ者専門相談室を設け、ろうあ者の一般生活上の諸問題に係る相談業務を行い、必要に応じて福祉事務所等の関係機関と連携しながら、問題解決を行う。
	視覚障害者あて文書にかかる点字サービス (社会局障害福祉課)	平成2年度	860	視覚障害者のプライバシーを保護するとともに、日常生活での不便を軽減するため、視覚障害者本人にも文書の内容を確認できるよう、当該文書の内容を簡単に説明する点字文書を同封する。
	身体障害者(児)に対する図書館サービス (教育委員会中央図書館)	昭和57年度	361	身体障害者に対し、図書の郵送貸出や本を朗読したカセットブックの郵送貸出、対面朗読サービスを行う。
	点字広報紙発行 (企画総務局広報課)	昭和44年度	5,530	視覚障害者に市政のニュースを知っていただくため、市広報紙「ひろしま市民と市政」、「広島市議会だより」の点字版を発行する。
	視覚障害者用声の広報 (企画総務局広報課)	昭和52年度	6,689	点字の読めない視覚障害者に、市政のニュースを知っていただくため、カセットテープによる「ひろしま市民と市政」、「広島市議会だより」を発行する。
	テレビ番組放送への手話及び字幕の導入 (企画総務局広報課)	平成元年度	22,300	聴覚障害者に、テレビ番組を通じて市政のニュースを知っていただくため、手話通訳や字幕をつけて放送する。

北九州市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	障害者の福祉ガイドの作成(障害福祉課)	昭和52年度	683	本市の福祉施策を障害者及び一般市民に、理解してもらうためガイドブックを作成し配布する。
生活支援	障害者支援センター運営委託事業(障害福祉課)	平成8年度	90,000	障害者の生活全般に関して、本人や家族等からの相談に専門的な立場から応じ、必要な各種支援を円滑に実施することにより、障害者の地域生活の安定と福祉の向上を図るための、「北九州市障害者支援センター」を設置する。
	障害児(者)地域療育等支援事業(障害福祉課)	平成8年度	43,489	在宅障害児(者)の地域における生活を支えるため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育機能の充実を図るとともに、これらの療育機能を支援する市域における療育機能との重層的な連携を図り、障害児(者)の福祉の向上を図る。
	心身障害児(者)家庭訪問指導事業(障害福祉課)	昭和47年度	7,788	知的障害児・者及びその保護者を対象とし、定期的な家庭訪問による個人指導やグループ指導により、生活指導や療育訓練等を行い、対象児・者の福祉の増進を図る。
	北九州市精神障害者授産施設等通所者交通費助成(障害福祉課)	平成15年度	5,688	公共交通機関を利用して授産施設等に通所する精神障害者を対象に、経済的負担の軽減及び自立と社会参加の促進を目的として、通所に係る交通費の一部を助成する。
	高次脳機能障害支援モデル事業(障害福祉課)	平成14年度	3,281	高次脳機能障害に対する標準的な評価基準や社会復帰支援等のプログラムの確立を図るため、福岡県・福岡市とともに協力してモデル事業を実施。拠点病院及び協力施設を指定して試行的に支援を行う。
	福祉サービスの第三者評価事業(障害福祉課)	平成14年度	2,379	第三者評価機関による客観的なサービス評価を行うことにより、サービスの質の向上を図り、利用者に情報の提供を行う。
	障害者スポーツ協会補助事業(障害福祉課)	平成元年	3,000	障害者スポーツ協会の充実を図るため運営費の一部を補助するもの。
障害者スポーツ振興事業(障害福祉課)	昭和38年度	13,531	障害者スポーツの推進を図るため、各種スポーツ教室の開催や、障害者スポーツ大会を開催する。また、全国大会等への大会派遣補助や市内で開催される国際大会や全国大会等の開催補助を行う。	
生活環境	おもちゃライブラリー運営事業(障害福祉課)	昭和57年度	884	障害児の障害程度・種別に応じ、療育と教育の一環として、おもちゃを通じて身体的・精神的発達を促すため、おもちゃの貸し出しと研究及び相談を行う。
	在宅心身障害児(者)援護事業(障害福祉課)	昭和43年度	2,693	在宅の心身障害児(者)及びその家族に対し、各々の事業の趣旨に沿った形でレクリエーションや学習の機会を与える。または、集団による生活指導や療育訓練等を行う。
	すこやか改造助成事業(障害福祉課)	平成8年度	9,119	重度障害者がいる世帯に対し、住宅を障害者等の住居に適するよう改良するための経費の一部を助成することにより、障害者等の自立を支援するとともに、家族等介護者の負担を軽減する。
教育・育成	障害児の放課後対策事業(障害福祉課)	平成11年度	20,000	在宅の障害児に通園の場を設け、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応訓練等を行うことにより、その育成に寄与する。
	在宅障害者療育訓練事業(障害福祉課)	平成元年度	6,212	施設入所できない在宅障害者を市内の知的障害者援護施設、身体障害者更生援護施設に通所させ、指導訓練等を行い在宅障害者の福祉の向上を図る。
	障害児の長期休暇対策モデル事業(障害福祉課)	平成17年度	1,000	夏休み期間中の障害児に対し、養護学校や保護者、ボランティア団体等と連携して、個々の特性に応じた活動を行わせることにより、長期休暇中の障害児の健全育成と保護者の介護負担の軽減を図る。

雇用・就業	障害者小規模共同作業所 運営費補助(障害福祉課)	平成2年度	259,180	在宅障害者の社会参加を促進するため、小規模共同作業所に対して、運営費を補助する。
保健・医療	精神科緊急・救急医療体制整備事業(障害福祉課)	平成10年度	16,855	夜間・休日における精神科救急医療について、福岡県が全県的に24時間体制で整備することに対し、応分の負担を負い、同時に、本市における緊急時の連絡体制を整備する。また、あわせて、救急医療に対応する精神保健指定医の資質の向上を目的に研修を行う。
国際協力	北九州チャンピオンズカップ国際車椅子バスケットボール大会等開催事業(障害福祉課)	平成15年度	27,000	海外から3チーム及び日本代表の4チームによる車椅子バスケットボール大会を通じて、障害者に対する理解・知識を深めるとともに、国際交流、市民参加意識の高揚を図る。 また、全日本ブロック選抜車椅子バスケットボール選手権大会を同時開催することにより、国内の車椅子バスケットボールの競技力の向上や障害者スポーツの振興を図る。

福岡市

分野名	事業名	開始年度	予算額(千円)	概要
啓発・広報	広報活動計画	昭和54年度	1,710	毎年7月、障がい者に対し施策の周知を図ることを目的とし、冊子「福岡市の障がい福祉」を発行。A4版67ページ、15,000部。
		昭和47年	18,000	毎年12月(人権尊重週間)、福岡市人権尊重パンフレット「差別をなくすために」を作成し、市内全戸に配布。705,000部
	障害者雇用促進月間啓発事業	平成17年度	-	毎年9月、本庁舎に懸垂幕を掲示し、障がい者の雇用促進を図る啓発活動を行う。(県雇用促進協会主催)
	ときめきフェスタ福岡・祭典の部(障がい施設課)	平成3年度	16,500	毎年10月、障がいのある人となない人のふれあいと交流を図ることを目的として開催。フォーラムや、授産製品のバザー等を行う。
	福岡市障がい者作品展(障がい施設課)	昭和51年	1,500	毎年10月、障がい児・者が製作した、絵画や陶器等の作品を発表・展示し、広く市民に障がい児・者への理解を得ることを目的として開催するもの。
生活支援	障がい者成年後見事業(障がい保健福祉課)	平成13年度	468	判断能力が不十分な障がい者で、親族等の身寄りがない場合など、法定後見制度の当事者による申し立てが期待できない状況にある人について、市長が申し立てを行う。
	地下鉄料金の助成(障がい保健福祉課)	昭和56年度	126,294	障がい者等に対し市営地下鉄の運賃助成を行う。(対象者:身体・知的・精神・被爆・戦傷病の各手帳所持者。等級・年齢・所得制限等有り)
	福祉乗車券(障がい保健福祉課)	平成13年度	67,406	障がい者等に公共交通機関の運賃助成を行う。(対象者:70才以上の身体・知的・精神・被爆・戦傷病の各手帳所持者。年額8,640円)
	重度心身障がい者福祉手当(障がい保健福祉課)	昭和48年度	294,780	重度の障がい者(児)の福祉増進のため、市単独の手当を支給する。(対象者:身障手帳1級、IQ35以下 支給額(年1回):在宅者20千円、施設入所者15千円)
	外国人重度心身障がい者給付金(障がい保健福祉課)	平成7年度	2,160	在日外国人のうち、年金制度に加入が認められなかったため無年金の状態にある者に対し、市独自の手当を支給する。
	心身障がい児(者)緊急一時介護事業(障がい児支援課)	昭和57年度	4,313	障がい児(者)のいる家庭において、家族の疾病、事故、出産、冠婚葬祭等のため、障がい児(者)を介護することが困難となったとき、介護ヘルパーが代わって介護を行う。(介護時間:8時~19時の範囲内 介護期間:原則として3日以内)
	障がい者配食サービス(障がい保健福祉課)	平成12年度	2,304	心身障がいのため調理が困難な障がい者等に対し、食事を定期的に提供する。(対象者:65才未満の単身障がい者等で調理が困難な者 回数:1日1回昼食 利用料:450円)
	福祉タクシー料金助成事業(障がい保健福祉課)	昭和54年度	80,608	外出困難で、かつ経済的な支援が必要な重度心身障がい者(児)タクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成する。(助成内容:基本料金分を月4回分、年間最多48枚)
	障がい者移送タクシー事業(障がい保健福祉課)	平成15年度	-	介護保険対象者のうち在宅の特定疾病障がい者が、通院などのため、ストレッチャー付タクシーを利用する際、その料金の一部を助成する。(助成内容:年4枚、所得に応じ2,120~8,500円)
	住宅整備資金貸付(障がい保健福祉課)	平成5年度	12,000	障がい者のいる世帯に対し、住宅の増改築又は改造に必要な資金の貸付を行う。(貸付限度額:200万円)
	福祉バスの運行(障がい保健福祉課)	昭和47年度	104,120	高齢者、心身障がい者、母子団体等が、研修会、レクリエーション等を行う場合にバスを運行する。

	リフトバス運行 (障がい保健福祉課)	昭和50年度	2,926	車いす使用の身体障がい者の団体等が研修やレクリエーション等を行う場合にリフトバスを運行する。
	身体障がい者結婚相談 (障がい保健福祉課)	昭和48年度	3,172	身体障がい者の結婚に関する相談を、相談所を設置して応じる。
生活環境	徘徊知的障がい者捜索システム事業(障がい保健福祉課)	平成15年度	-	徘徊のおそれがある知的障がい者に携帯端末機を所持させ、行方不明時に位置検索を行うとともに、警察等関係機関と連携を取り早期発見・保護を行う。
教育・育成	在宅重度障がい者レクリエーション (障がい保健福祉課)	昭和55年度	999	外出の機会に恵まれない在宅の重度身体障がい者に野外活動訓練を実施する。(対象者と保護者70組)
	在宅心身障がい児親子レクリエーション(障がい児支援課)	昭和51年度	1,686	外出の機会に恵まれない心身障がい児の親子を対象に、1日レクリエーションを実施する。(親子180組)
	療育キャンプ(障がい児支援課)	昭和46年度	1,594	在宅心身障がい児を対象として、自宅以外での宿泊経験及び集団訓練の場を提供する。(保護者同伴で25組程度)
	療育訓練(障がい児支援課)	昭和49年度	5,675	在宅の脳性マヒ等の心身障がい児にリハビリ訓練の場を設け、児童と保護者が一緒になり2日～1週間程度泊まり込み集団生活を通じて療育を行う。
	知的障がい者いこいの家運営費補助(障がい保健福祉課)	昭和62年度	3,000	在宅の知的障がい児・者のいこいの家、短期保護預かりの場である「ひまわりホーム」への助成を、福岡市手をつなぐ育成会へ実施。
	地域障がい者フィットネス普及事業(障がい施設課)	平成15年度	2,687	医学的リハビリテーションを終了した青年層の身体障がい者に対応できるフィットネスプログラムの確立を図る。また、併せて指導者の養成、地域の民間教室、福祉機関のデイサービス等への普及を図る。
	高次脳機能障がい者リハビリ教室(障がい施設課)	平成15年度	3,477	高次脳機能障がい者に対して、社会生活力を高めるリハビリを実施する。
雇用・就業	知的障がい者福祉訓練(障がい保健福祉課)	昭和53年度	114,956	市内の公園で、知的障がい者に一定期間、公園清掃等に必要作業知識、技能の習得及び生活指導を行う。
	福祉作業所補助金(障がい保健福祉課)	昭和57年度	504,661	企業等へ就職することが困難な在宅の障がい者を対象に、社会参加促進のため社会適応訓練や作業訓練などを実施している作業所の運営団体に対し、一定の補助金を交付する。
	障がい者就労支援センター 運営経費(障がい保健福祉課)	平成15年度	108,147	障がい者の一般企業等への就労を促進するため、本人や家族及び関係機関や企業からの相談に応じるとともに、職場で直接仕事の内容などをわかりやすく指導するジョブコーチを派遣して、就労面と生活面の双方から支援を行う。
保健・医療	重度心身障がい者医療費助成(保険年金課)	昭和49年度	3,687,632	重度心身障がい者の保険診療による医療費の自己負担分相当額(入院時の食事療養に係る標準負担額を除く)を助成